

東浦町地域公共交通計画 資料編

～移動しやすく交流を生む「おでかけ」環境を目指して～

東浦町

目次

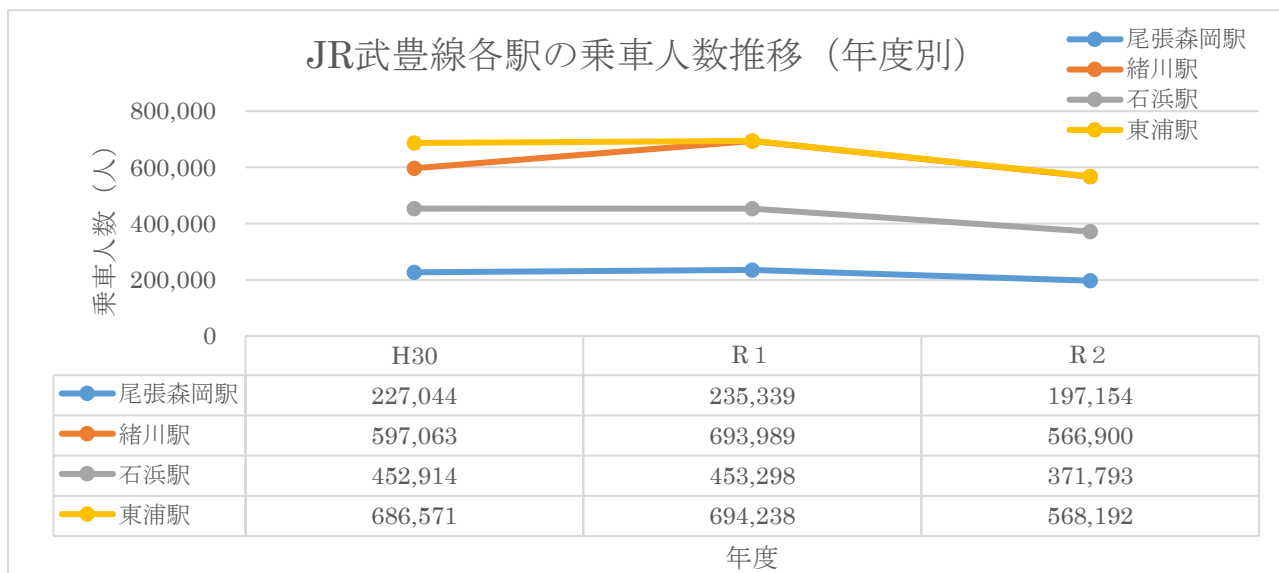
第1章 東浦町の公共交通の現状	1
1 鉄道.....	1
2 東浦町運行バス「う・ら・ら」	1
3 路線バス「知多バス（知多乗合株）」	2
4 中部国際空港直行バス「刈谷中部空港線」（知多乗合株）	2
5 タクシー	3
第2章 アンケートの調査結果.....	4
1 目的・調査概要等.....	4
2 調査結果	7
第3章 グループインタビューの調査結果	37
1 目的・調査概要等.....	37
2 調査結果	38
第4章 東浦町地域公共交通網形成計画の評価	50
1 目的・評価方法等.....	50
2 目標1のプロセス目標・成果目標の評価	51
3 目標2のプロセス目標・成果目標の評価	53
4 目標3のプロセス目標・成果目標の評価	56

第1章 東浦町の公共交通の現状

1 鉄道

■他都市との広域移動、町内移動を担い、大量の移動需要に対応

東部に JR 武豊線、西部の町境付近に名鉄河和線が南北に通っています。平成 30 年度から令和 2 年度までの鉄道「JR 武豊線」の乗車人数の推移は以下のとおりです。



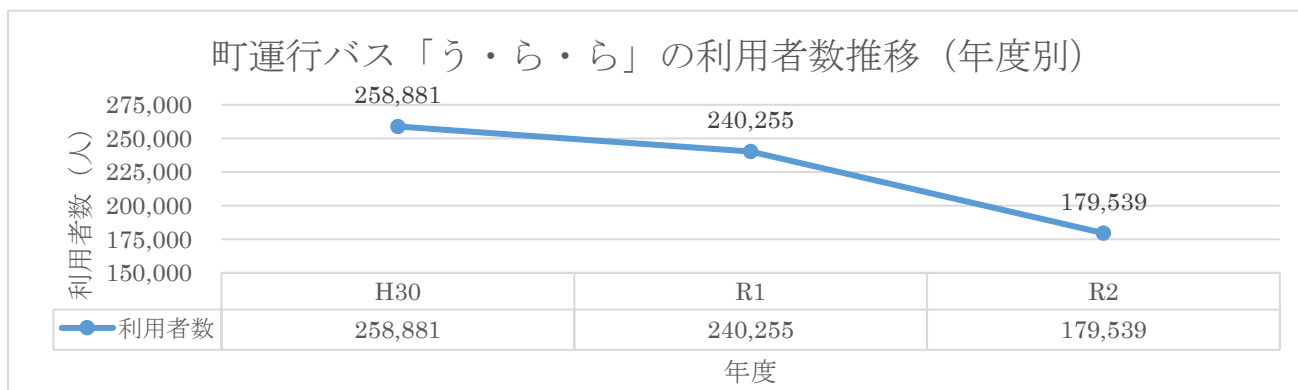
2 東浦町運行バス「う・ら・ら」

■町内移動を担うとともに、大府市・刈谷市への移動ができ、中量の移動需要に対応

町運行バス「う・ら・ら」は、町内の買い物、総合病院（長寿医療研究センター・刈谷 豊田総合病院）等への通院、小学校の通学の足としての役割を担っています。

緒川駅東口を乗継ぎ拠点とし、北部の長寿医療研究センターを結ぶ「長寿線」、西部の東ヶ丘団地と南部の平池台を環状に結ぶ「環状線」、東部の刈谷市を結ぶ「刈谷線」等の 5 系統 9 路線があり、1 日 68 便が運行しています。

平成 30 年度から令和 2 年度までの利用者数推移は以下のとおりです。

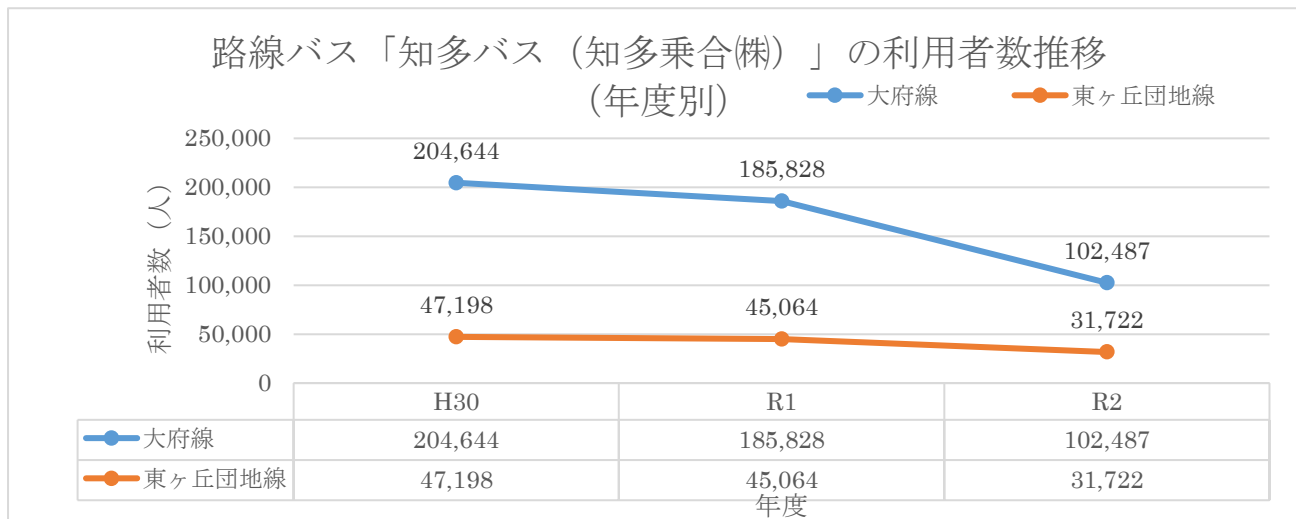


3 路線バス「知多バス（知多乗合株）」

■近隣市への移動、一部町内移動ができ、中量の移動需要に対応

路線バスは町内に2路線あります。「大府線」は、森岡日生団地とJR大府駅を結び、通勤・通学に対応しています。「東ヶ丘団地線」は、東ヶ丘団地と名鉄異ヶ丘駅を結び、通勤・通学に対応しています。

平成30年度から令和2年度までの「大府線」及び「東ヶ丘団地線」の利用者数の推移は以下のとおりです。

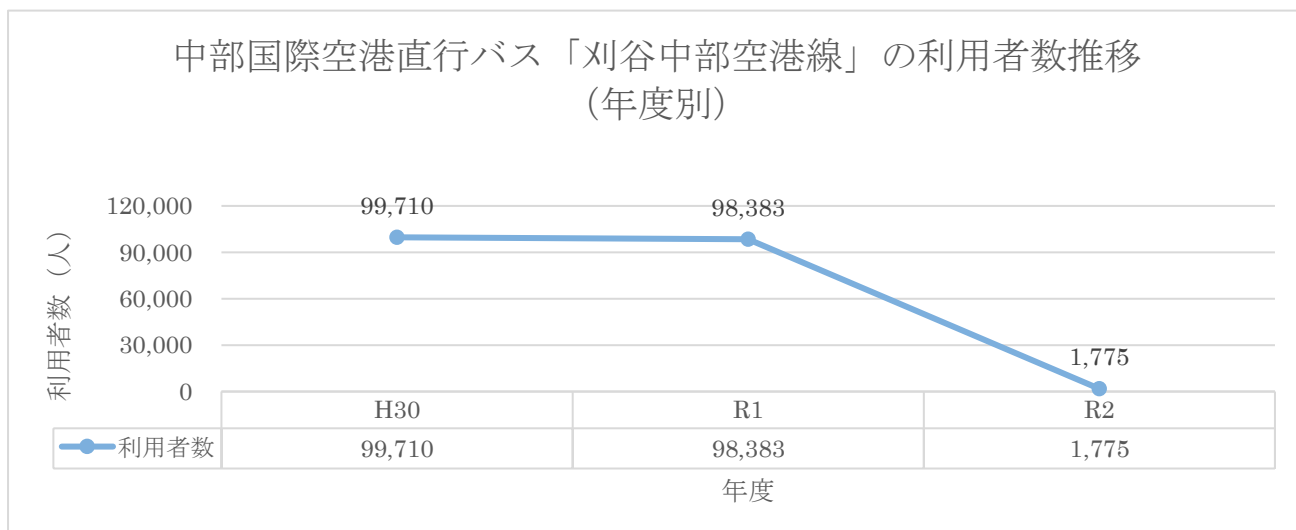


4 中部国際空港直行バス「刈谷中部空港線」（知多乗合株）

■町内から空港へ移動や近隣市（知立駅前・刈谷駅前・東陽町（刈谷市）・刈谷市駅口）と緒川駅との間の利用を担い、中量の移動需要に対応

中部国際空港直行バス「刈谷中部空港線」は、知立駅から刈谷駅前（北口）や緒川駅（東口）を經由し、中部国際空港を結び、1日2便が運行しています。コロナ禍に伴って減便した令和2年3月28日改正以前の運行便数は、1日27便でした。

平成30年度から令和2年度までの利用者数の推移は以下のとおりです。



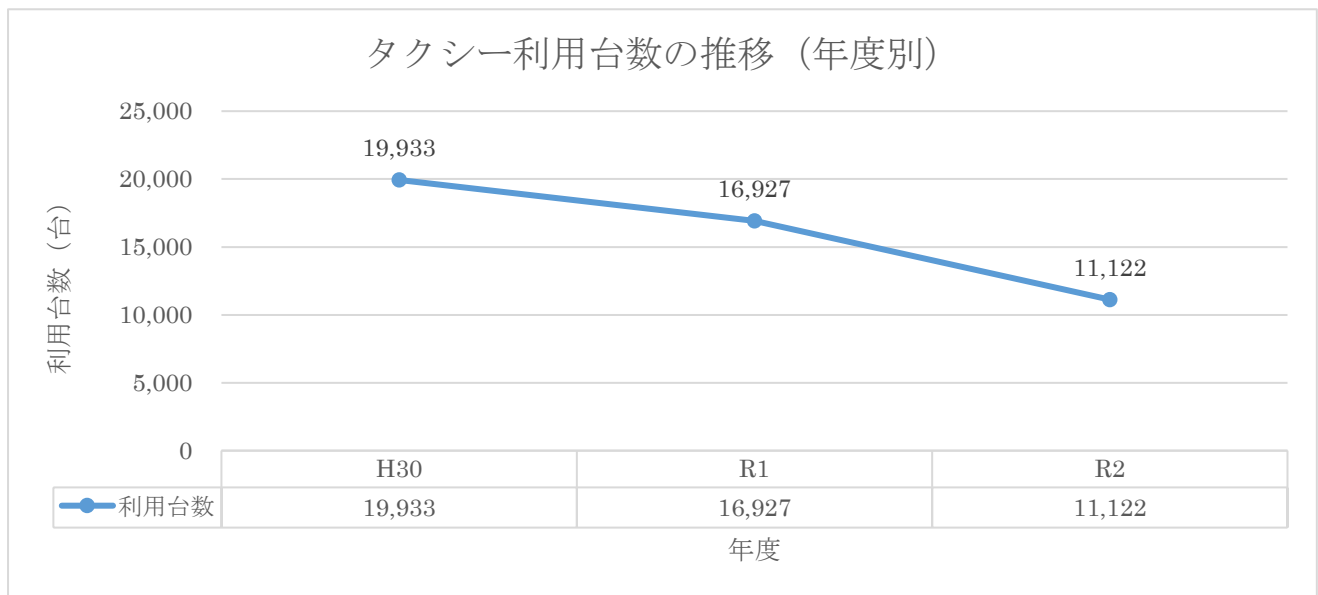
5 タクシー

■鉄道・バスでは難しい少量の移動需要に対応

町内に多く点在する狭路への乗入れや、バス停まで歩くことが困難な高齢者や障がい者等の移動需要を満たせることから、きめ細かいサービスを提供することが可能です。

知多交通圏を営業エリアにするタクシー会社は10社あり、そのうち町内のJR武豊線4駅に待機場所があるのは、安全タクシー(株)、大興タクシー(株)、名鉄知多タクシー(株)の3社です。

平成30年度から令和2年度までのタクシー（安全タクシー(株)、大興タクシー(株)、名鉄知多タクシー(株)）の利用台数の推移は以下のとおりです。



第2章 アンケートの調査結果

1 目的・調査概要等

1 目的

「東浦町地域公共交通網形成計画」の評価及び「東浦町地域公共交通計画」の目標設定に必要な情報の聴取を第一目的とし、公共交通に対する意識・行動変容を促すことも狙ったアンケート調査「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」を実施しました。

2 調査概要等

配布者 900 人に対して有効回答数は 234 票で、回答率は 26%。抽出者であるご本人に加え、ご家族を含めた 445 人、238 世帯から回答がありました。

表 アンケート調査の概要

項 目	概 要
調査期間	令和 3 年 8 月（発送日：令和 3 年 7 月 27 日、締切日：令和 3 年 8 月 31 日）
調査方法	・ 調査票の郵送配布・郵送回収 ・ 調査票は本人用 1 部、同居家族用 2 部の計 3 部
調査内容	下表を参照
調査対象	住民基本台帳に登録されている 12 歳以上の住民から抽出。なお、調査対象には抽出者である本人のご家族も含む。
配布者数	900 人 ※ 令和 3 年 6 月末日の東浦町の指定区別年齢別男女別人口調をもとに各年代の人口比を揃え、6 地区で等分する。 ※ アンケートは 12 歳以上を対象に配布するため、0～11 歳の人口比は「12～19 歳」に含めている。 ※ 年齢は、令和 3 年 4 月 1 日現在で満年齢になっている方を対象とする。
回答者数数	・ 抽出者であるご本人 900 人のうち、234 人から回答あり ・ ご本人に加え、そのご家族を含めた 445 人、238 世帯から回答あり
回答率	26.0%
その他	・ 基本的には、回答をそのまま集計した結果で町民の外出や公共交通の利用状況について傾向を把握する。 ・ ただし、必要に応じて、項目によりウエイトバック集計（年齢別で拡大）を行い、分析を進める。 ・ 調査結果は、小数点第 1 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

表 アンケート調査内容（概要）

項 目	概 要
質問 1 普段の外出	①外出頻度 ②目的別外出頻度 ③交流ができるおでかけ先 ④「う・ら・ら」利用で行く交流ができるおでかけ先
質問 2 公共交通の 利用状況	①「う・ら・ら」の利用状況 ②「路線バス」の利用状況 ③「JR 武豊線」の利用状況 ④「名鉄河和線」の利用状況 ⑤「タクシー」の利用状況
質問 3 公共交通に 対する施策	①「う・ら・ら」の満足度 ②公共交通全体の満足度 ③公共交通全体に関する意向
質問 4 属性	①年齢 ②居住地 ③運転免許の保有状況 ④マイカーの保有状況
質問 5 意識・ 行動変容	①自宅近くのバス停の認知度 ②「う・ら・ら」の最寄りバス停名 ③「う・ら・ら」の利用可能目的 ④「う・ら・ら」が利用可能目的地 ⑤ ④で降車する「う・ら・ら」のバス停名 ⑥ ④の目的地に行く場合、他の公共交通機関への乗り換えの有無 ⑦ ④の目的地に行く場合の発時刻 ⑧ ⑦の時間で移動する場合の着時刻 ⑨ ②～⑧で作成したおでかけプランの実行意向 ⑩ ②～⑧で作成したおでかけプランの実行日程

表 調査結果の概要

項 目	概 要
回答率	- 抽出対象者ご本人 900 人のうち、234 人、26.0%から回答あり。 - 全体では、抽出対象者ご本人に加え、ご家族を含めた 445 人、238 世帯から回答あり。 - 地区別では緒川、森岡からの回答率が高い。 - 年代別にみると、若年層よりも 60～70 歳代の回答率が高く、関心が高い。
運転免許・ マイカーの 保有状況	- 運転免許は、20 歳～60 歳代では殆どの方が保有しており、70 歳代でも 7 割以上が保有。 80 歳を過ぎると運転免許保有率が低下するが、それでも約半数が運転

	免許を保有。 ・ 9 割の世帯でマイカーを保有。
普段の外出	・ 外出頻度は 60 歳代から減少しはじめ、80 歳以上で顕著に減少。 ・ 平均外出頻度は、5.6 日/週。 ・ 「通勤・通学」目的での外出頻度が最も高く 4.4 日/週。約 8 割が「買い物」目的で外出し、外出頻度は 2.3 日/週。 ・ 約半数が「楽しみのおでかけ（1 人で）」、「楽しみのおでかけ（複数人で）」目的で外出。若年層は複数人でのおでかけ割合が多いが、高齢層では 1 人でのおでかけ割合が多い。 ・ 約 7 割が「他人と会話や交流ができるおでかけ先」あり。全体で 2.5 カ所。 ・ 運転免許保有状況や世帯マイカー保有状況により、「他人と会話や交流ができるおでかけ先」について大きな傾向は見られない。 ・ 「う・ら・ら」利用で行く「他人と会話や交流ができるおでかけ先」がある方は約 1 割と限られる。
公共交通の利用状況	・ 公共交通の利用状況について、JR 武豊線の利用者割合が最も多く、約半数が年に 1 日は利用。平均すると利用頻度は 2.0 日/月。 ・ 「う・ら・ら」、「名鉄河知線」は約 2 割が利用。 ・ 「う・ら・ら」や「路線バス」の利用は、運転免許非保有者及び世帯マイカー非保有者の利用者割合が多い。 ・ 地区別の鉄道利用について、「緒川新田」は名鉄河知線、それ以外は JR 武豊線の利用者が多い。
地域公共交通に対する満足度	・ 「う・ら・ら」の満足度は 26.1%。 ・ 公共交通全体の満足度は 35.1%。 ・ 「う・ら・ら」も「公共交通」も、利用者の方が非利用者よりも満足度が高い。 ・ 「う・ら・ら」の増便、「JR 武豊線の増便」に関する意見が多数。
「う・ら・ら」の利用可能性	・ 「う・ら・ら」バス停の認知度は 9 割。 ・ 「う・ら・ら」を利用できそうな目的は、4 割が「家族にクルマ送迎してもらえないとき」。 ・ 目的地は、6 割が「イオンモール東浦」。 ・ 考えたおでかけプランの実行について、3 割が実行できそう。日程を確認すると 2 割にとどまる。

2 調査結果

1 質問4 属性について

(1) 質問4 ①年齢・②居住地の調査結果

- ・ 年代別では、若年層よりも 60～70 歳代の回答率が高いことから、若年層より高齢者層の方が公共交通に関心が高いと考えられます。
- ・ 地区別では緒川、森岡からの回答率が高いことが分かります。

表 抽出対象者の回答率（年代別）

	中学生	高校生 (～18歳)	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半 (60～64歳)	60代後半 (65～69歳)	70代前半 (70～74歳)	70代後半 (75～79歳)	80歳以上	不明	計
森岡	2	1	3	2	5	7	4	1	5	7	4	3	0	44
緒川	3	2	2	0	6	10	8	1	5	5	5	5	0	52
緒川新田	3	0	1	2	2	6	5	2	2	3	1	2	0	29
石浜	0	2	1	1	3	7	7	4	3	1	5	4	0	38
生路	3	1	2	4	1	6	5	1	1	6	4	4	0	38
藤江	1	3	1	0	1	4	10	1	5	0	2	4	0	32
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	12	9	10	9	18	40	39	10	21	22	21	22	1	234
計			31	9	18	40	39			31	43	22	1	234
配布数			162	102	108	132	126			90	108	72	—	900
回答率			19.1%	8.8%	16.7%	30.3%	31.0%			34.4%	39.8%	30.6%		26.0%

表 抽出対象者の回答率（地区別）

	森岡	緒川	緒川新田	石浜	生路	藤江	不明	計
配布数	150	150	150	150	150	150	—	900
回答数	44	52	29	38	38	32	1	234
回答率	29.3%	34.7%	19.3%	25.3%	25.3%	21.3%	—	26.0%

表 家族を含めたサンプル数（地区別・年代別）

	森岡	緒川	緒川新田	石浜	生路	藤江	不明	無回答	計
小学生以下	3	1	1	0	0	1	0	0	6
中学生	3	3	3	0	4	3	0	0	16
高校生（～18歳）	2	6	2	2	4	4	0	0	20
18・19歳	3	2	2	1	4	2	0	0	14
20代	3	4	5	8	4	3	0	0	27
30代	8	9	5	6	3	2	0	0	33
40代	14	14	10	12	11	11	0	0	72
50代	10	15	9	18	9	15	0	0	76
60代前半（60～64歳）	1	4	4	8	2	4	0	0	23
60代後半（65～69歳）	6	8	5	5	1	8	0	0	33
70代前半（70～74歳）	9	8	8	4	8	2	0	0	39
70代後半（75～79歳）	8	12	2	7	6	5	0	0	40
80歳以上	5	10	3	8	7	8	0	0	41
不明	0	0	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	1	0	0	0	2	3
計	75	96	59	80	63	69	1	2	445

（２）質問４ ③運転免許の保有状況の調査結果

- ・ 運転免許は、20 歳～60 歳代では殆どの方が所有しており、70 歳代でも 7 割以上が所有しています。
- ・ 80 歳を過ぎると運転免許保有率が低下するが、それでも約半数が運転免許を保有しています。
(持っている 37%＋免許返納したい 10%=47%が保有)

表 運転免許保有状況（地区別）

	森岡	緒川	緒川新田	石浜	生路	藤江	不明	無回答	計
持っている	73%	75%	80%	81%	73%	78%	100%	0%	76%
以前は持っていた (免許返納した)	4%	6%	2%	5%	3%	4%	0%	0%	4%
今後、免許返納したい と思っている	1%	1%	2%	3%	2%	0%	0%	0%	1%
持っていない	21%	18%	17%	10%	22%	16%	0%	0%	17%
答えたくない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
無回答	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	100%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
回答者数	75	96	59	80	63	69	1	2	445

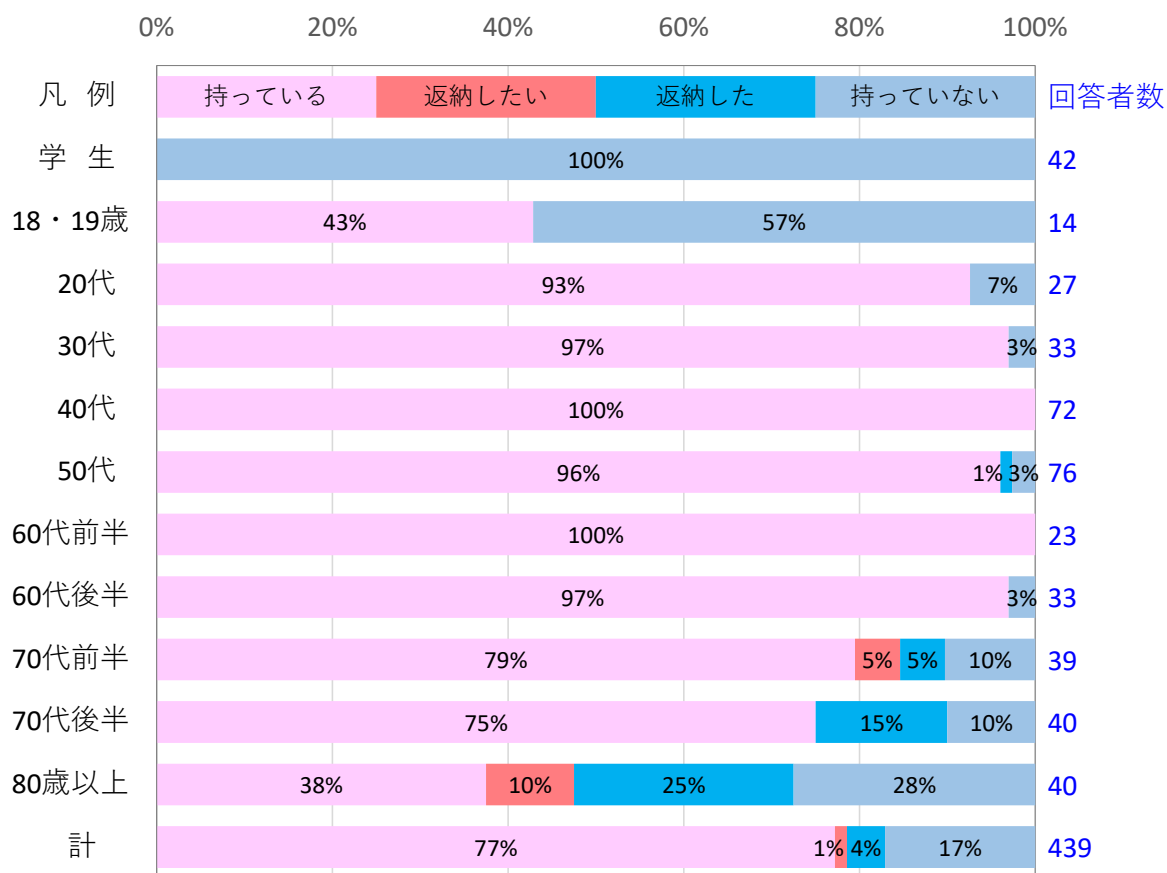


図 運転免許の保有状況（年代別）

(3) 質問4 ④マイカーの保有状況の調査結果

- ・ 9割の世帯でマイカーを保有、7割以上の世帯で2台以上を保有しています。
- ・ 80歳を過ぎると世帯マイカー保有率が低下、運転免許保有率と同傾向にあります。

表 世帯マイカー保有状況（地区別）

	森岡	緒川	緒川新田	石浜	生路	藤江	不明	無回答	計
1台	19%	32%	19%	16%	17%	30%	0%	0%	23%
2台	52%	43%	36%	50%	37%	46%	0%	0%	44%
3台	16%	14%	29%	18%	17%	13%	0%	0%	17%
4台	0%	4%	3%	8%	11%	9%	0%	0%	6%
5台	1%	0%	7%	0%	3%	0%	0%	0%	2%
6台以上	0%	2%	7%	0%	2%	0%	0%	0%	2%
持っていない	12%	4%	0%	9%	11%	1%	0%	0%	6%
答えたくない	0%	0%	0%	0%	2%	0%	100%	0%	0%
無回答	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
回答者数	75	96	59	80	63	69	1	2	445

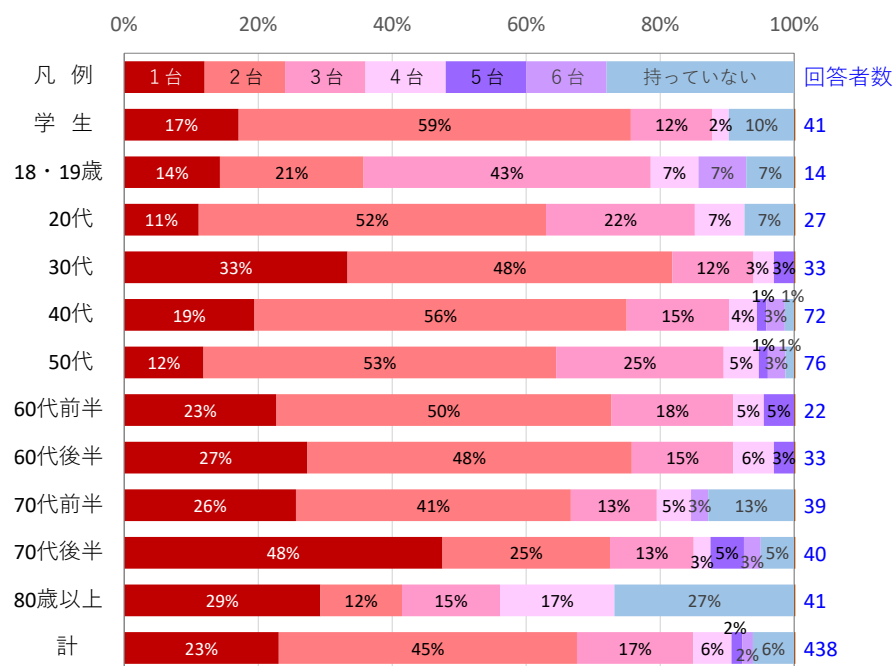


図 世帯マイカー保有状況（年代別）

表 運転免許保有状況（世帯マイカー保有状況別）

	1台	2台	3台	4台	5台	6台以上	持っていない	不明	無回答	計
持っている	77%	82%	80%	88%	86%	100%	14%	100%	0%	76%
以前は持っていた （免許返納した）	7%	2%	3%	0%	0%	0%	25%	0%	0%	4%
今後、免許返納したいと 思っている	1%	1%	1%	4%	0%	0%	7%	0%	0%	1%
持っていない	15%	16%	16%	4%	14%	0%	50%	0%	33%	17%
答えたくない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
無回答	0%	0%	0%	4%	0%	0%	4%	0%	67%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
回答者数	101	196	76	25	7	7	28	2	3	445

2 質問 1 普段の外出について

(1) 質問 1 ①外出頻度の調査結果

- ・ 外出状況を年代別にみると、60 歳代から減少しはじめ、80 歳以上で顕著に減少することが分かります。通勤・通学目的での外出が減少することが最大の要因であると考えられます。
- ・ 平均外出頻度は、5.6 日/週です。

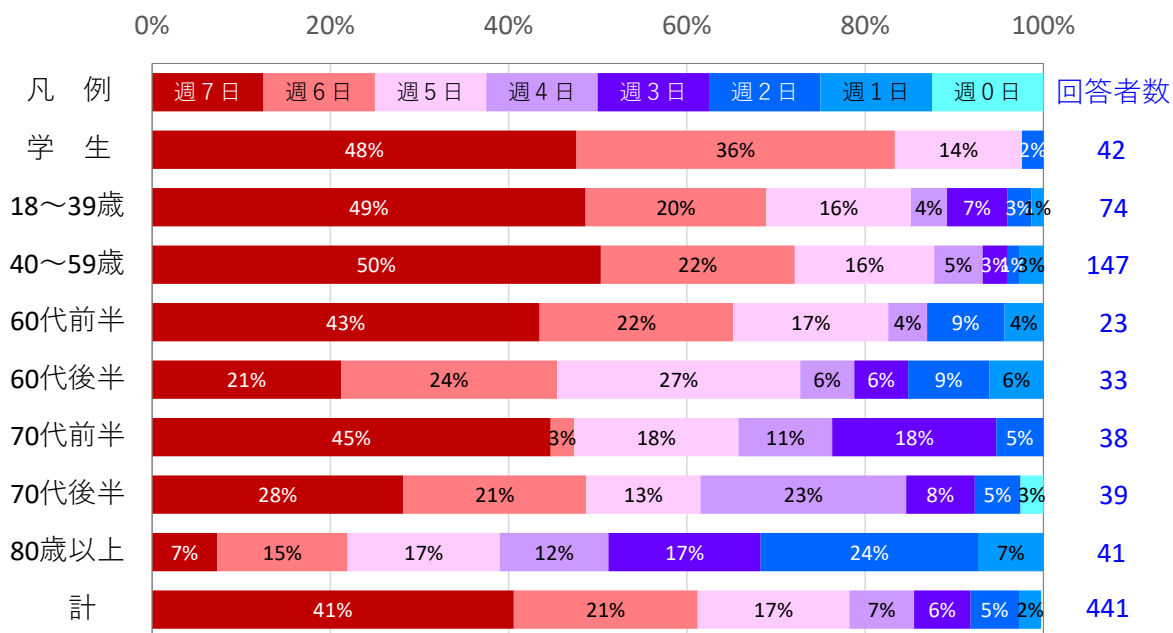


図 年代別の外出状況

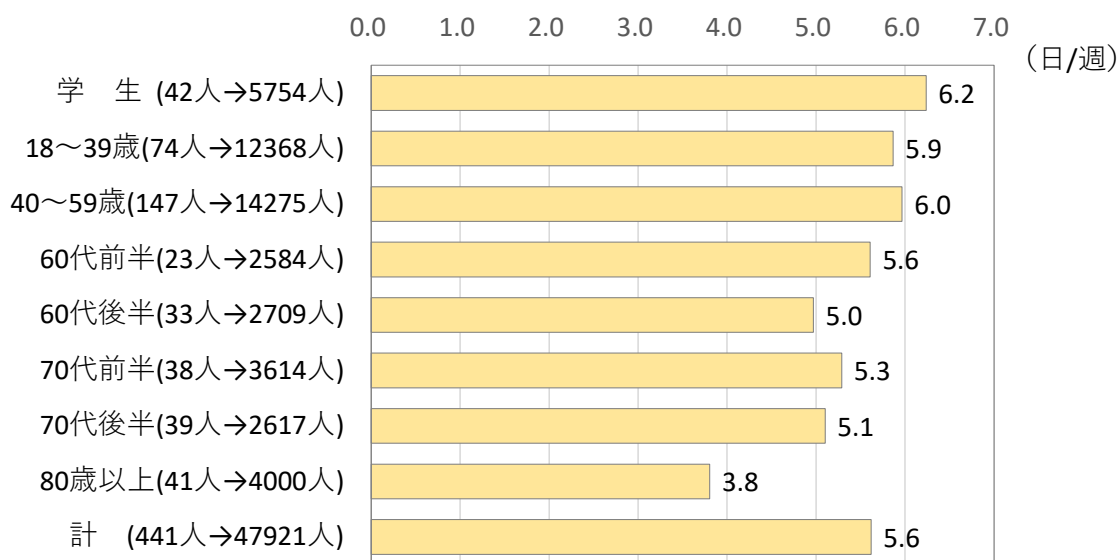


図 年代別平均外出頻度（ウェイトバック後）

- ・ 高齢者（65 歳以上）に着目すると、平均外出頻度は 4.7 日/週になります。

表 外出頻度（アンケート調査の回答）

	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計
週に 7 日	7	17	11	3	38
週に 6 日	8	1	8	6	23
週に 5 日	9	7	5	7	28
週に 4 日	2	4	9	5	20
週に 3 日	2	7	3	7	19
週に 2 日	3	2	2	10	17
週に 1 日	2	0	0	3	5
週に 0 日	0	0	1	0	1
計	33	38	39	41	151
平均外出頻度(日/週)	5.0	5.3	5.1	3.8	4.8

表 東浦町の 65 歳以上の人口（令和 3 年 6 月末日）

	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計
人口	2,709	3,614	2,617	4,000	12,940

表 外出頻度（ウエイトバック後）

	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計
週に 7 日	575	1,617	738	293	3,222
週に 6 日	657	95	537	585	1,874
週に 5 日	739	666	336	683	2,423
週に 4 日	164	380	604	488	1,636
週に 3 日	164	666	201	683	1,714
週に 2 日	246	190	134	976	1,546
週に 1 日	164	0	0	293	457
週に 0 日	0	0	67	0	67
計	2,709	3,614	2,617	4,000	12,940
平均外出頻度(日/週)	5.0	5.3	5.1	3.8	4.7

外出頻度 4.7 日/週

（２）質問１ ②目的別外出頻度の調査結果

- ・ 回答者 445 人のうち、約 8 割にあたる 348 人が「買い物」目的で外出しており、外出頻度は 2.3 日/週となっています。
- ・ 「通勤・通学」目的での外出頻度が最も高く、4.4 日/週となっています。
- ・ また、約半数が「楽しみのおでかけ（１人で）」、「楽しみのおでかけ（複数人で）」目的で外出しており、外出頻度は各 1.7 日/週、1.4 日/週となっています。

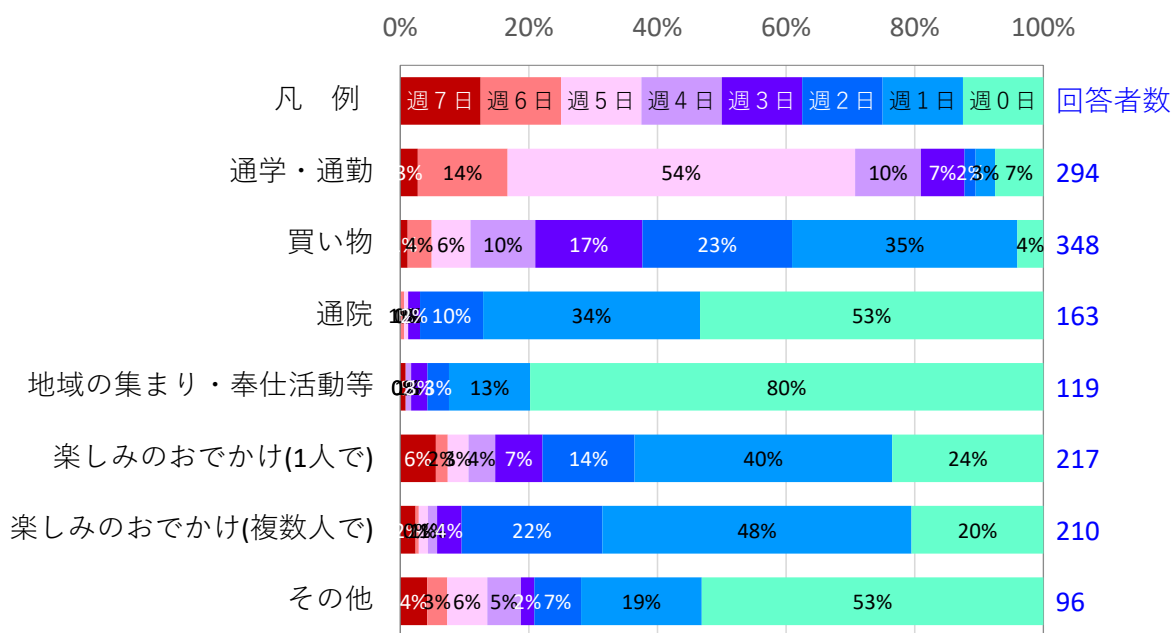


図 目的別の外出状況

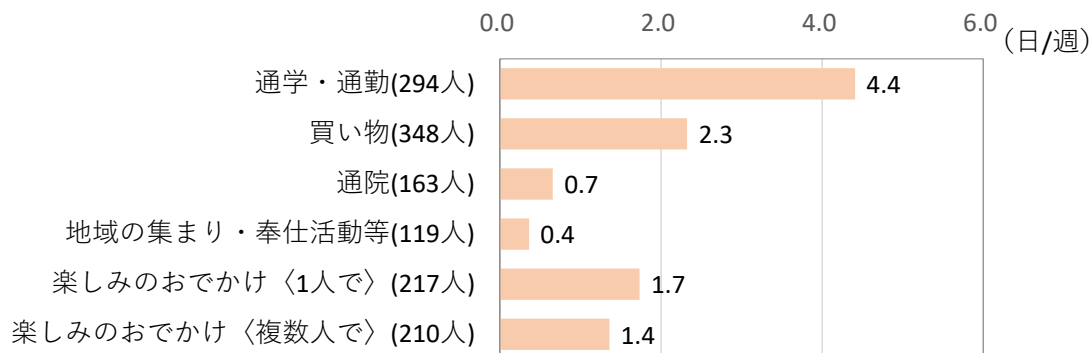
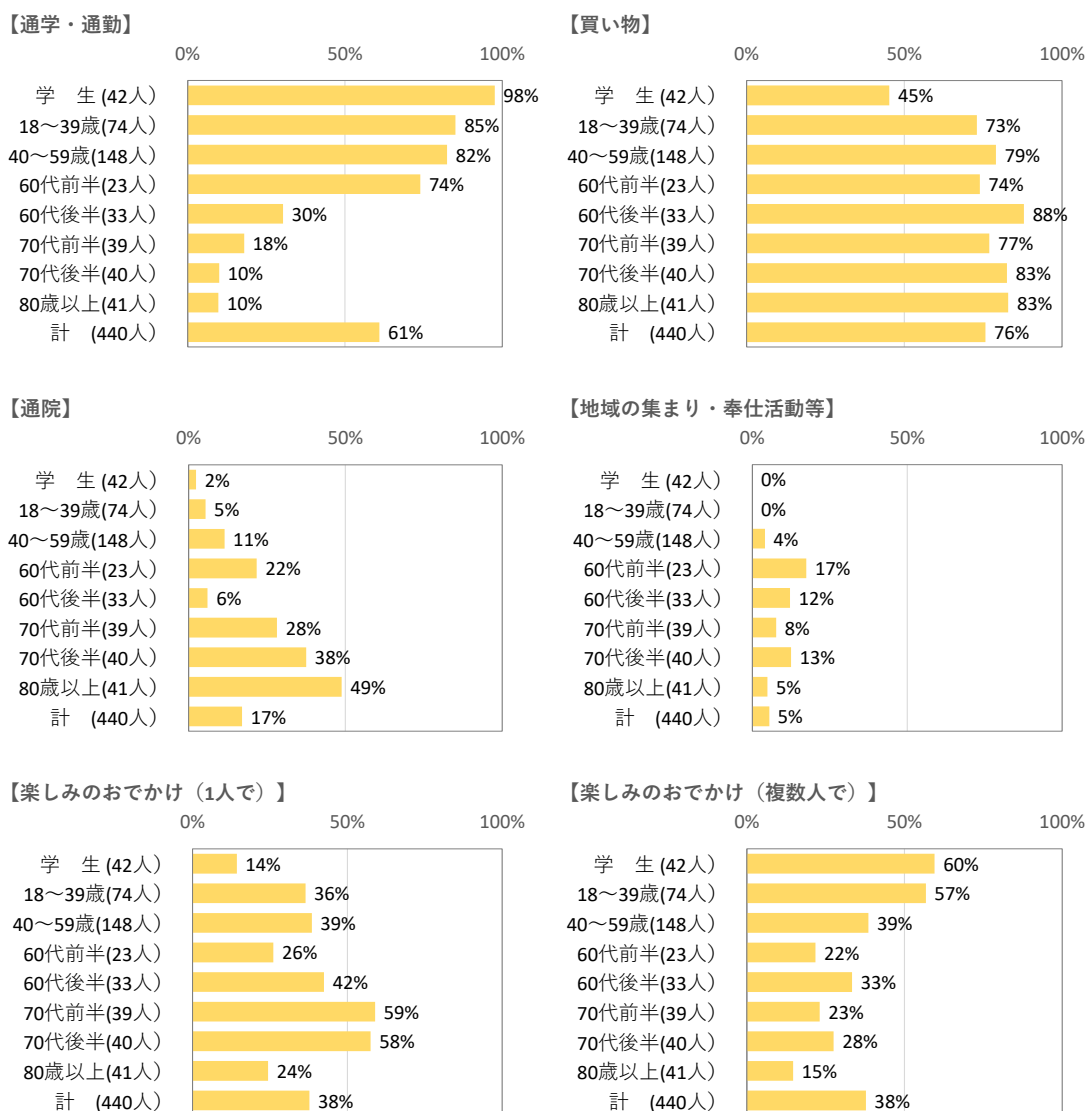


図 目的別の平均外出頻度

- ・ 目的別、年代別にみると、いずれの年代でも「買い物」目的の外出割合は高い状況にあります。
- ・ 「通勤・通学」目的は60歳代後半から、顕著に減少する傾向があります。
- ・ 一方、「通院」目的は、年齢に比例して外出割合が増加しています。
- ・ 「楽しみのおでかけ」目的について、若年層は複数人でのおでかけ割合が多いですが、高齢層では1人でのおでかけ割合が多いことが分かりました。80歳以上になると外出割合が顕著に低くなります。

図 目的別の外出割合（年代別）



（３）質問１ ③交流ができるおでかけ先の調査結果

- ・ アンケート調査回答者 554 人から当該設問の無回答者を除く 441 人の「他人と会話や交流ができるおでかけ先」について、66%があると回答しています。
- ・ 年代別にみると、若年層や高齢者の割合が多い傾向にあります。
- ・ おでかけ先数については、全体で 2.5 カ所となっています。
- ・ おでかけ先数についても、若年層や高齢層で多い傾向にあり、特に 70 歳代後半が多いことが分かります。

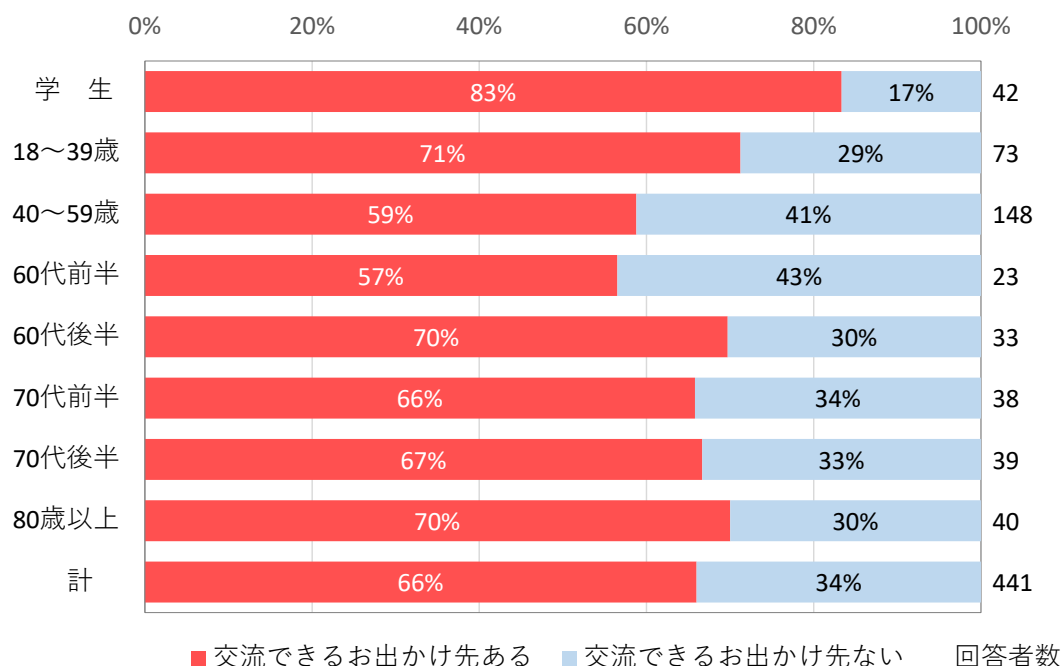


図 他人と会話や交流ができる“おでかけ先”の有無（年代別）

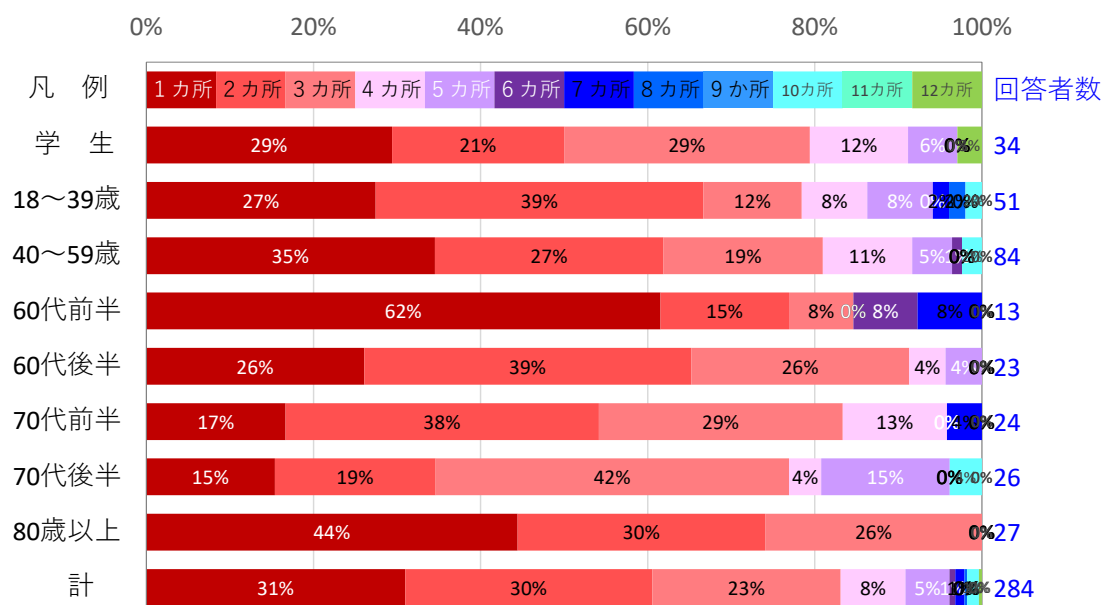


図 他人と会話や交流ができる“おでかけ先”の状況（年代別）

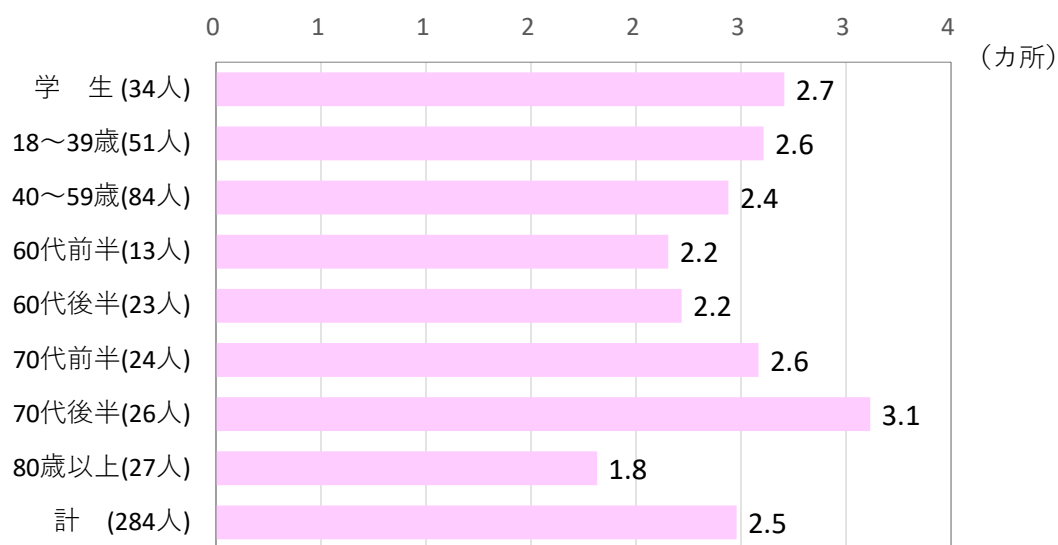


図 他人と会話や交流ができる“おでかけ先”数（平均数）（年代別）

- ・ 運転免許保有状況や世帯マイカー保有状況により、「他人と会話や交流ができるおでかけ先」について大きな傾向は見られませんでした。

表 他人と会話や交流ができる“おでかけ先”の有無（運転免許保有状況別）

	持っている	以前は持っていた（免許返納した）	今後、免許返納したいと思っている	持っていない	無回答	計
ある	62%	74%	83%	79%	25%	65%
ない	37%	21%	17%	21%	75%	34%
無回答	1%	5%	0%	0%	0%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%
回答者数	340	19	6	76	4	445

表 年代別の他人と会話や交流ができる“おでかけ先”の有無（世帯マイカー所有状況別）

	1台	2台	3台	4台	5台	6台以上	持っていない	不明	無回答	計
ある	64%	65%	70%	56%	71%	57%	75%	0%	33%	65%
ない	35%	34%	30%	40%	29%	43%	25%	100%	67%	34%
無回答	1%	1%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
回答者数	101	196	76	25	7	7	28	2	3	445

(4) 質問1 ④「う・ら・ら」利用で行く交流ができるおでかけ先の調査結果

- ・ 交流ができるおでかけ先がある方の約1割が、「う・ら・ら」利用で行くおでかけ先があることが分かりました。

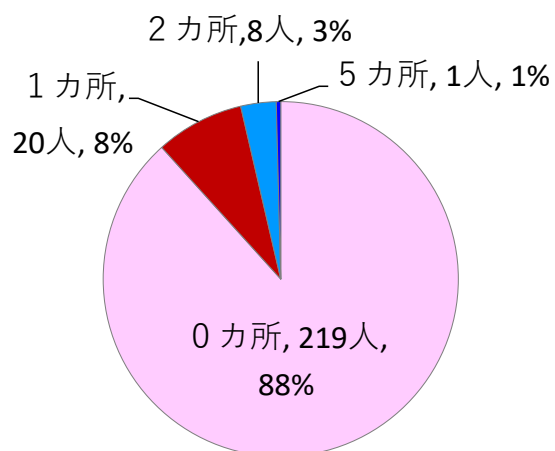


図 「う・ら・ら」利用で行く他人と会話や交流ができる“おでかけ先”数

3 質問2 公共交通の利用状況について

(1) 質問2 「公共交通」の利用状況の調査結果

- 公共交通の利用状況について、JR 武豊線の利用者割合が最も多く、約半数が年に1日は利用しています。平均すると利用頻度は2.0日／月です。
- 「う・ら・ら」、「名鉄河知線」は約2割の方が利用しています。

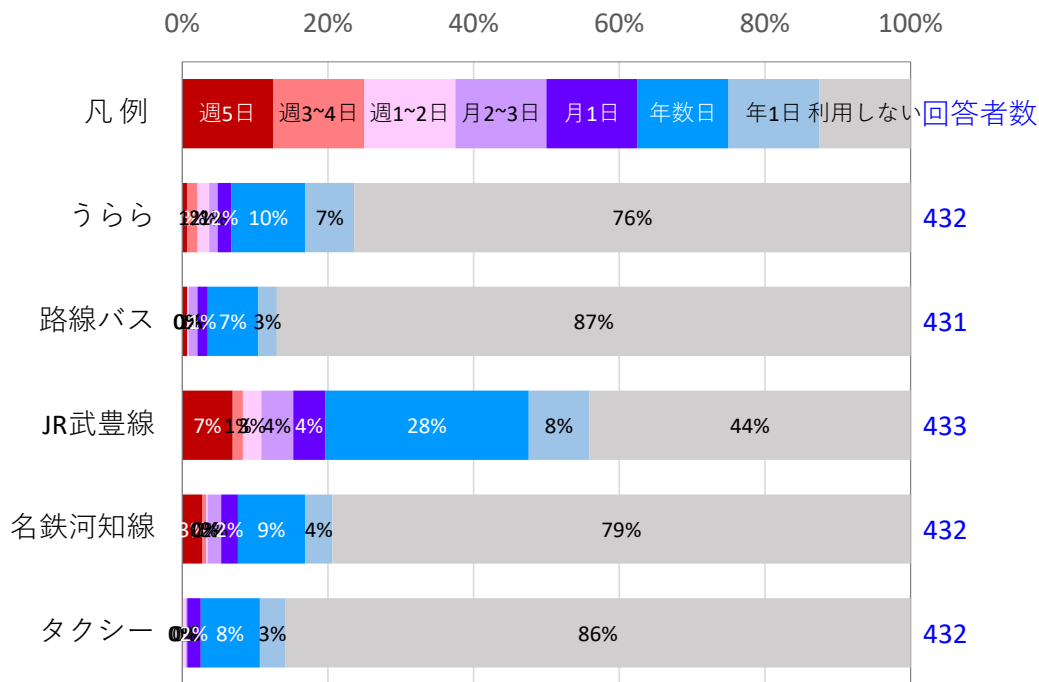


図 公共交通の利用状況

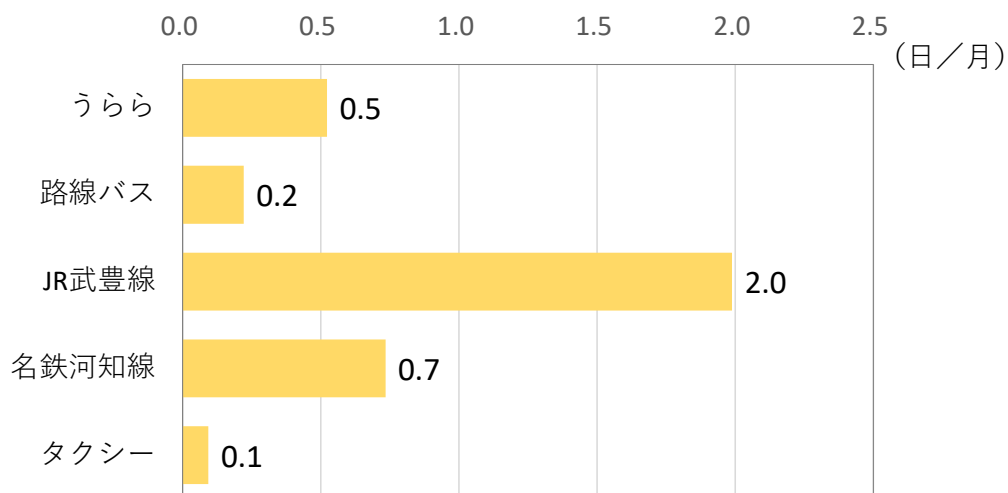


図 公共交通の利用頻度

（２）質問２ ①「う・ら・ら」の利用状況の調査結果

- 「う・ら・ら」の利用について、運転免許非保有者及び世帯マイカー非保有者の利用者割合が多いことが分かります。年代でみると、学生や 70 歳以上の利用者割合が多いことが分かります。

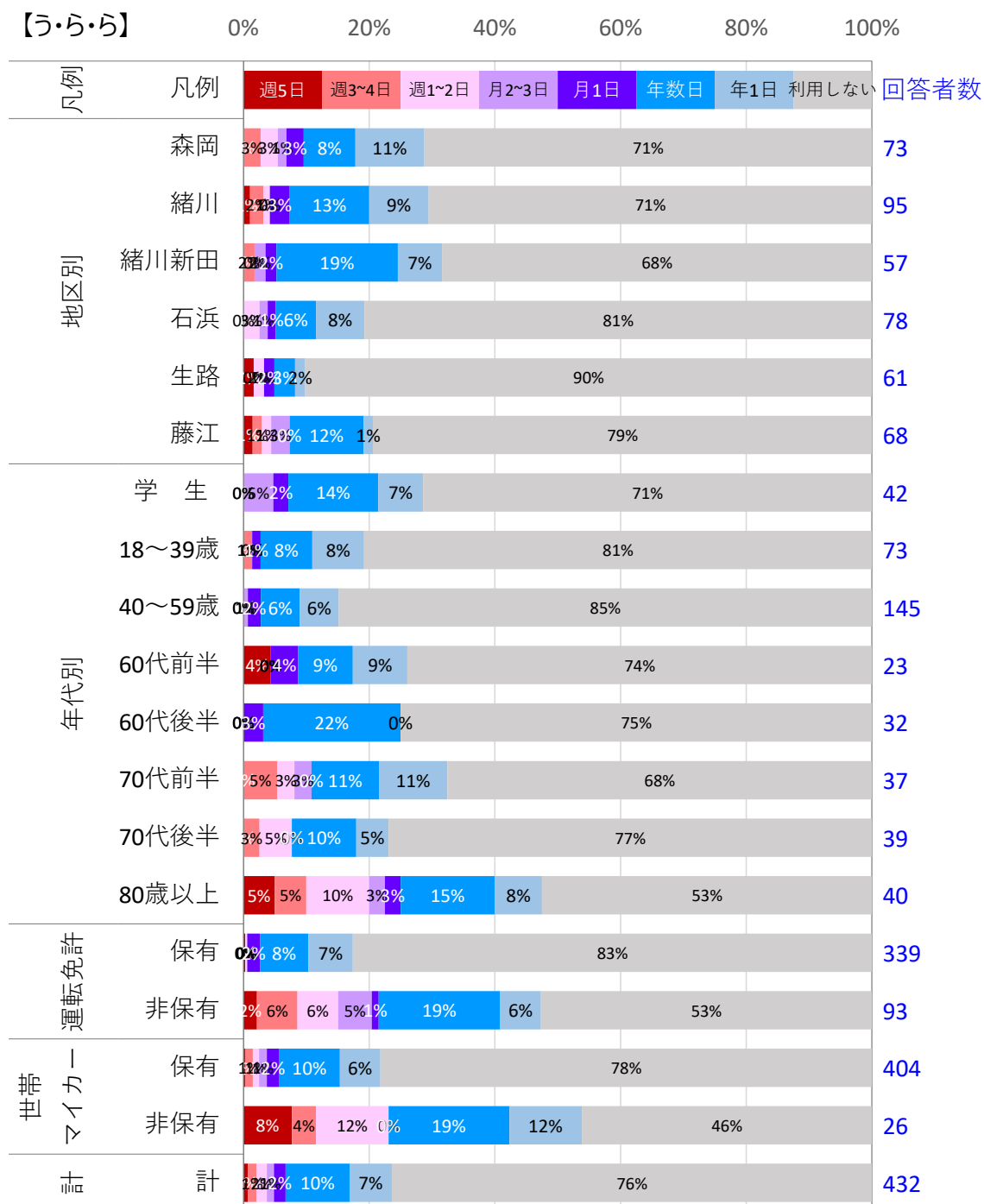


図 「う・ら・ら」の利用状況（属性別）

（３）質問２ ②「路線バス」の利用状況の調査結果

- ・ 「路線バス」についても「う・ら・ら」の利用と同様、運転免許非保有者及び世帯マイカー非保有者の利用者割合が多いことが分かりました。

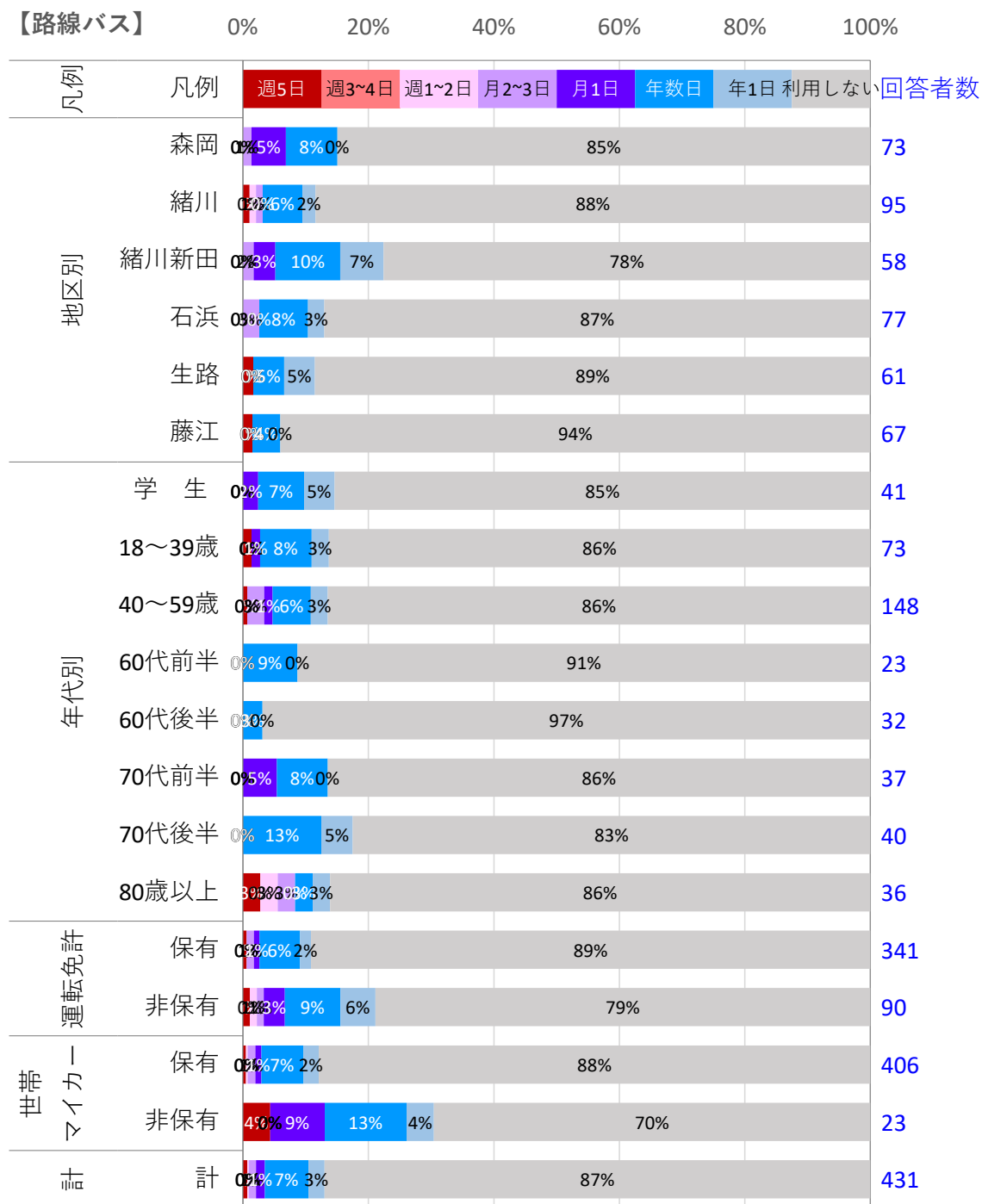


図 「路線バス」の利用状況（属性別）

（４）質問２ ③「JR 武豊線」の利用状況の調査結果

- ・ 地区別では、JR 沿線から遠い「緒川新田」の利用者割合が少ない状況にあります。
- ・ 学生や若年層で、２割弱が「週５日」の利用となっており、他の年代よりも利用者割合が多いことが分かります。
- ・ 「う・ら・ら」や「路線バス」の利用と異なり、運転免許や世帯マイカーの保有状況の影響は小さいことが分かります。

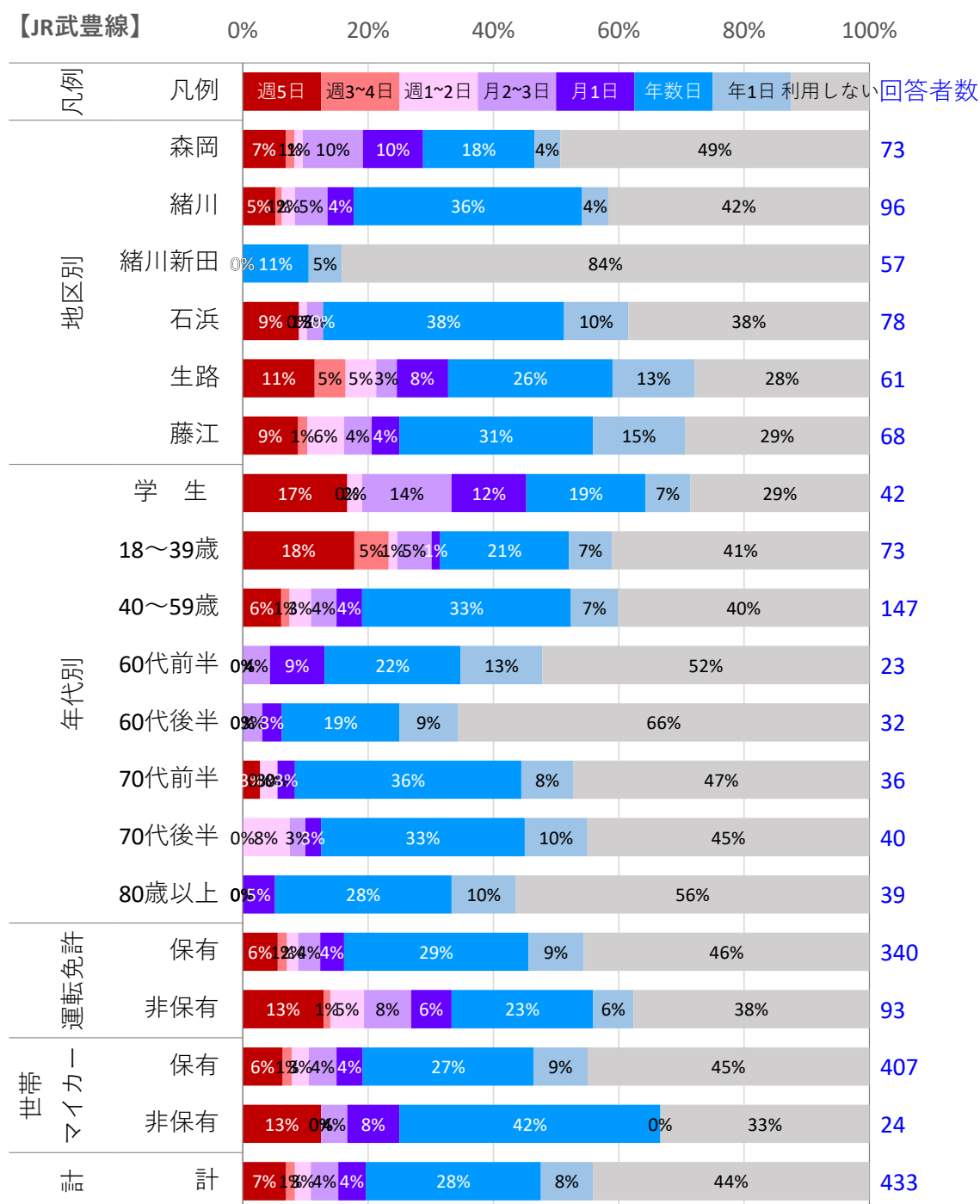


図 「JR 武豊線」の利用状況（属性別）

（５）質問２ ④「名鉄河和線」の利用状況の調査結果

- ・ 地区別では、「緒川新田」の８割以上が利用しています。
- ・ 年代別では、学生や若年層の１割弱が「週５日」の利用となっています。

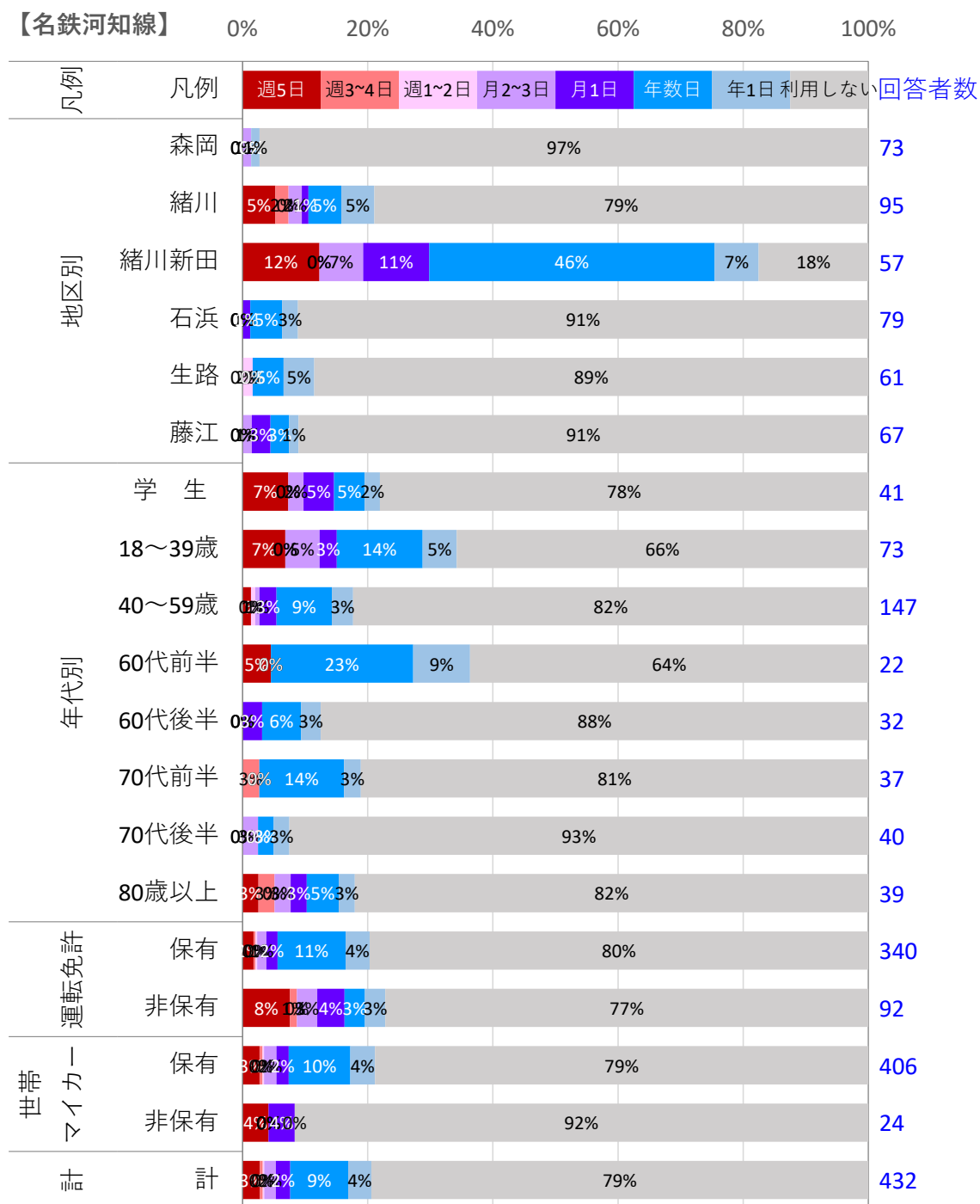


図 「名鉄河和線」の利用状況（属性別）

(6) 質問2 ⑤「タクシー」の利用状況の調査結果

- ・ 地区別では「緒川新田」、年代別では70歳代後半以上の利用者割合が多い。

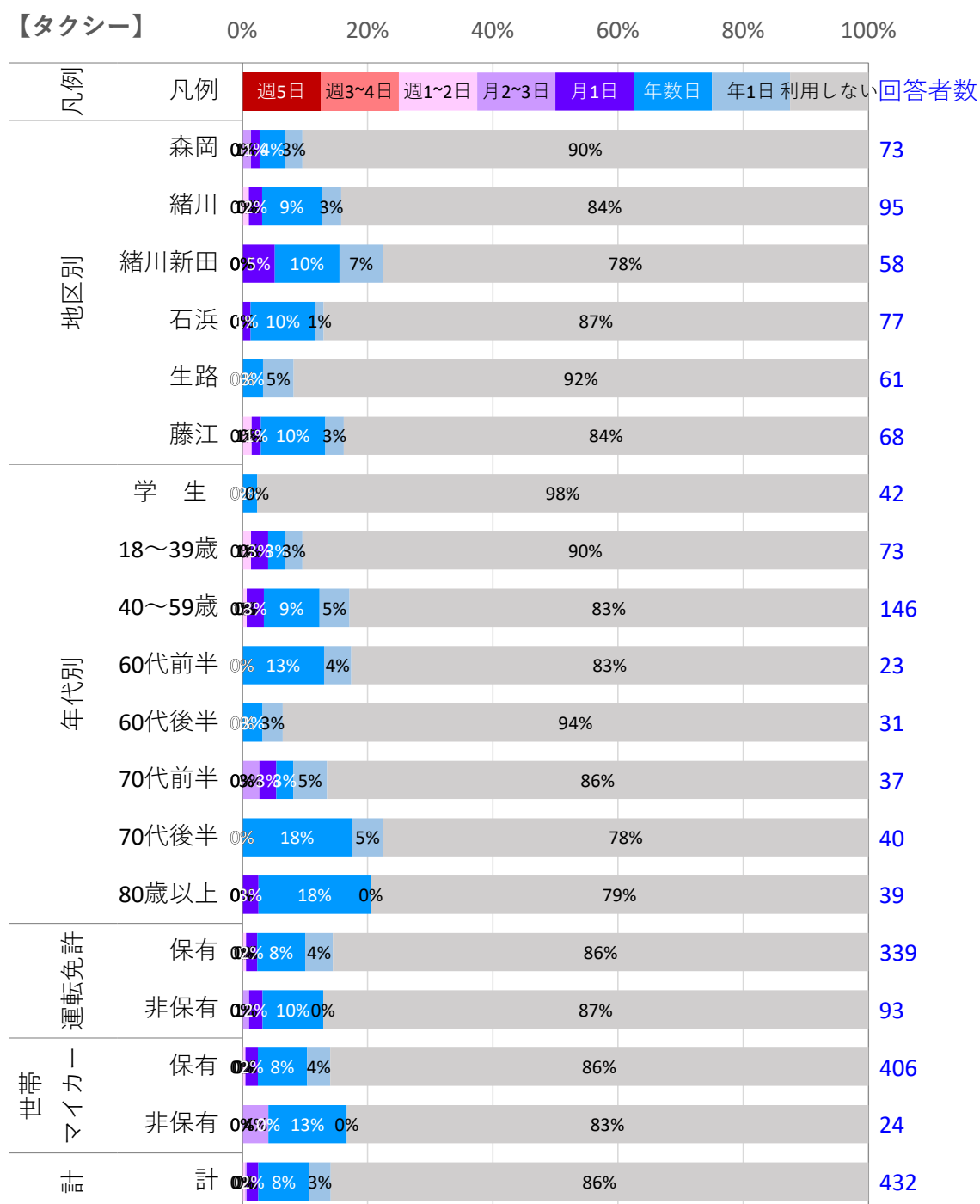


図 「タクシー」の利用状況（属性別）

4 質問3 公共交通に対する施策について

(1) 質問3 ①「う・ら・ら」の満足度の調査結果

- ・ 「う・ら・ら」の満足度は26.1%です。
- ・ 「う・ら・ら」の利用頻度が高いほど満足度が高い傾向があります。
- ・ 地区別では「森岡」、「緒川」、「緒川新田」、年代別では「学生」、「60歳代後半」の満足度が高いこと分かります。

表 「う・ら・ら」の満足度（アンケート調査の回答）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計	
1. 満足	2	1	5	1	4	2	2	6	2	1	4	3	3	36	8.5%
2. まあ満足	0	3	3	3	5	4	14	11	3	8	6	6	7	73	17.3%
3. どちらとも言えない	4	11	12	7	16	23	47	47	14	16	23	23	20	263	62.3%
4. やや不満	0	0	0	1	2	3	5	9	2	4	3	3	2	34	8.1%
5. 不満	0	1	0	1	0	1	4	3	2	0	0	1	3	16	3.8%
計	6	16	20	13	27	33	72	76	23	29	36	36	35	422	100.0%
	1%	4%	5%	3%	6%	8%	17%	18%	5%	7%	9%	9%	8%	100%	

表 東浦町の人口（令和3年6月末日）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計
人口	2,828	1,440	1,486	997	5,493	5,878	7,350	6,925	2,584	2,709	3,614	2,617	4,000	47,921
	6%	3%	3%	2%	11%	12%	15%	14%	5%	6%	8%	5%	8%	100%

表 「う・ら・ら」の満足度（ウエイトバック後）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計	
1. 満足	943	90	372	77	814	356	204	547	225	93	402	218	343	4,682	9.8%
2. まあ満足	0	270	223	230	1,017	712	1,429	1,002	337	747	602	436	800	7,807	16.3%
3. どちらとも言えない	1,885	990	892	537	3,255	4,097	4,798	4,283	1,573	1,495	2,309	1,672	2,286	30,070	62.7%
4. やや不満	0	0	0	77	407	534	510	820	225	374	301	218	229	3,695	7.7%
5. 不満	0	90	0	77	0	178	408	273	225	0	0	73	343	1,667	3.5%
計	2,828	1,440	1,486	997	5,493	5,878	7,350	6,925	2,584	2,709	3,614	2,617	4,000	47,921	100.0%
	6%	3%	3%	2%	11%	12%	15%	14%	5%	6%	8%	5%	8%	100%	

【う・ら・ら】

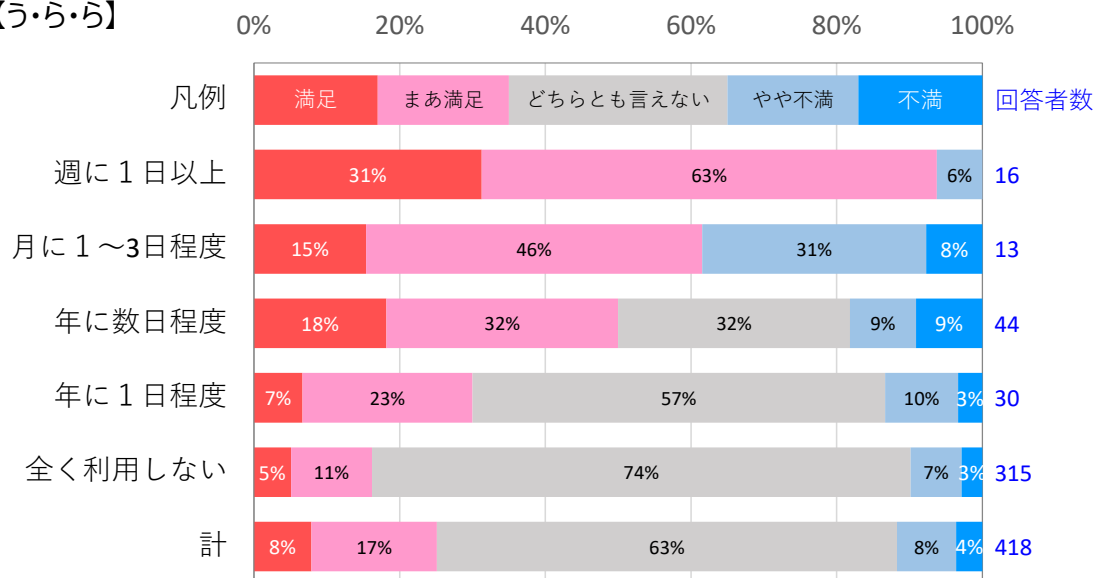


図 「う・ら・ら」の満足度（「う・ら・ら」の利用頻度別）

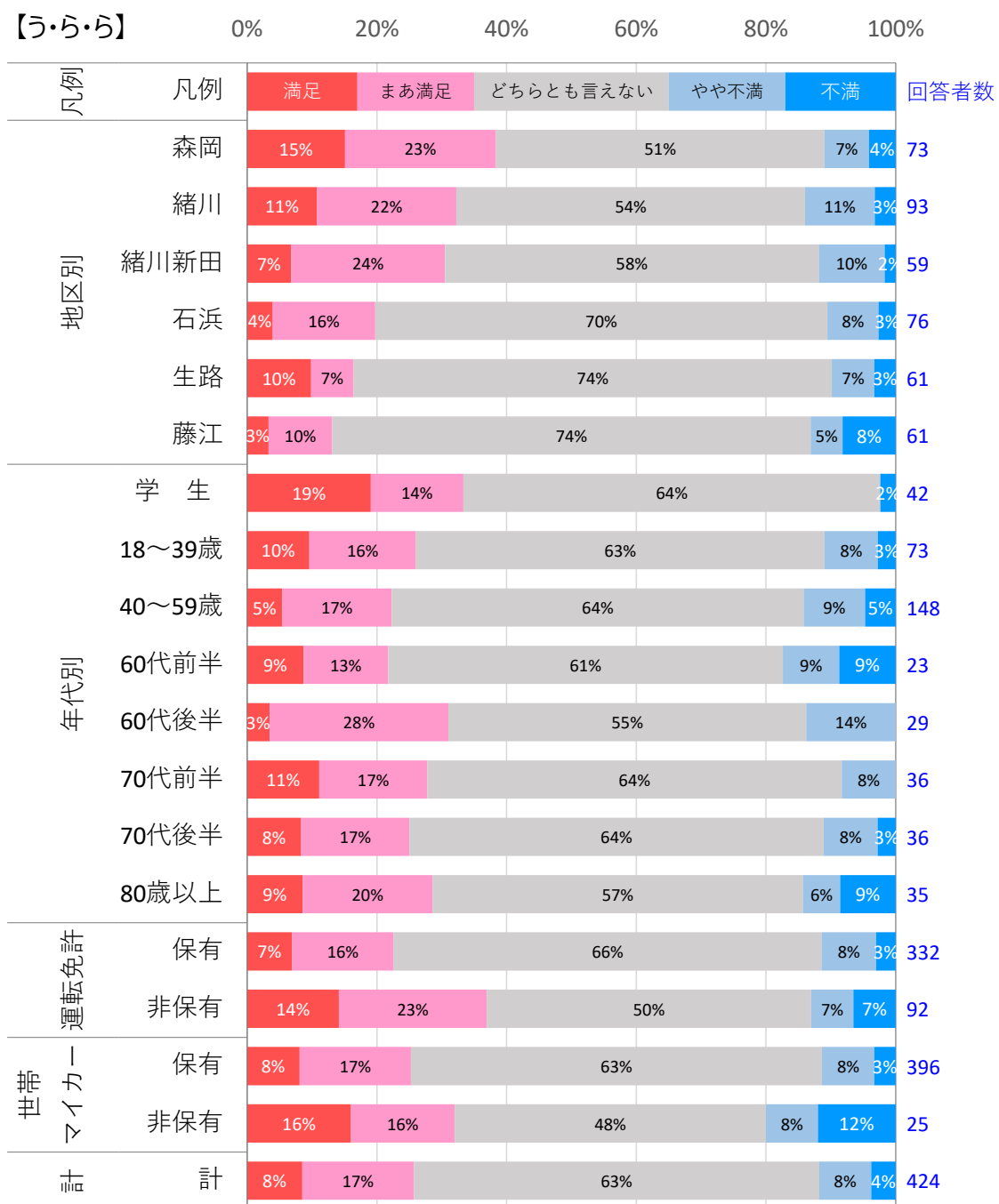


図 「う・ら・ら」の満足度（属性別）

（２）質問３ ②公共交通全体の満足度の調査結果

- 公共交通全体の満足度は35.1%です。
- 「公共交通利用なし」よりも「公共交通利用あり」の方が、満足度が高い傾向があります。
- 地区別では「生路」、「森岡」、「緒川」、「緒川新田」、年代別では「学生」、「80歳以上」、「60歳代前半」の満足度が高いことが分かります。

表 公共交通全体の満足度（アンケート調査の回答）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計	
1. 満足	3	2	4	1	3	4	1	4	3	1	3	3	1	33	7.8%
2. まあ満足	0	4	8	4	8	5	20	18	6	9	7	11	13	113	26.8%
3. どちらとも言えない	3	6	6	4	9	19	29	35	9	13	23	17	16	189	44.9%
4. やや不満	0	3	2	3	4	2	18	15	4	5	3	4	4	67	15.9%
5. 不満	0	0	0	1	3	3	4	4	1	1	0	1	1	19	4.5%
計	6	15	20	13	27	33	72	76	23	29	36	36	35	421	100.0%
	1%	4%	5%	3%	6%	8%	17%	18%	5%	7%	9%	9%	8%	100%	

表 東浦町の人口（令和3年6月末日）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計
人口	2,828	1,440	1,486	997	5,493	5,878	7,350	6,925	2,584	2,709	3,614	2,617	4,000	47,921
	6%	3%	3%	2%	11%	12%	15%	14%	5%	6%	8%	5%	8%	100%

表 公共交通全体の満足度（ウエイトバック後）

	小学生	中学生	高校生	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80歳以上	計	
1. 満足	1,414	192	297	77	610	712	102	364	337	93	301	218	114	4,833	10.1%
2. まあ満足	0	384	594	307	1,628	891	2,042	1,640	674	841	703	800	1,486	11,988	25.0%
3. どちらとも言えない	1,414	576	446	307	1,831	3,384	2,960	3,189	1,011	1,214	2,309	1,236	1,829	21,706	45.3%
4. やや不満	0	288	149	230	814	356	1,838	1,367	449	467	301	291	457	7,007	14.6%
5. 不満	0	0	0	77	610	534	408	364	112	93	0	73	114	2,387	5.0%
計	2,828	1,440	1,486	997	5,493	5,878	7,350	6,925	2,584	2,709	3,614	2,617	4,000	47,921	100.0%
	6%	3%	3%	2%	11%	12%	15%	14%	5%	6%	8%	5%	8%	100%	

【公共交通】

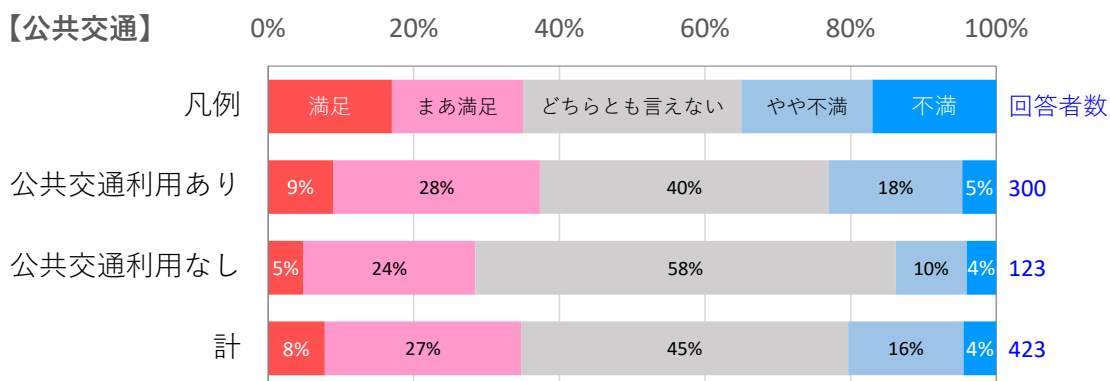


図 公共交通全体の満足度（公共交通利用有無別）

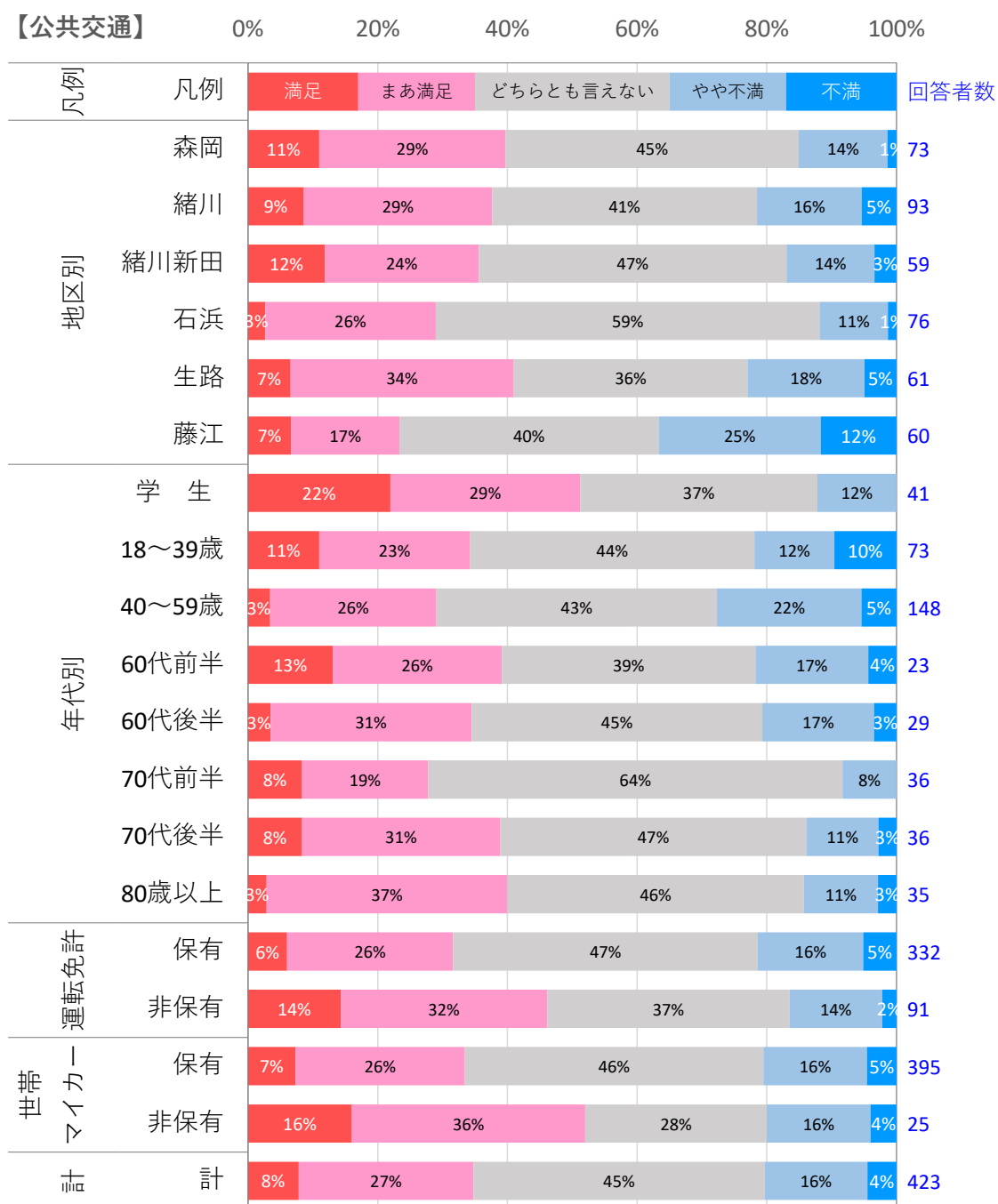


図 公共交通全体の満足度（属性別）

(3) 質問3 ③公共交通全体に関する意向の調査結果

- ・ 106 人から、公共交通全体に関する意見を頂きました。
- ・ 「う・ら・ら」の増便、「JR 武豊線の増便」に関する意見が多いことが分かりました。

表 公共交通全体に関する意見

うらら	増便要望	21
	乗換・経路	15
	鉄道駅乗入	14
	運行方法・停留所	5
	運行時間帯	4
	運賃	4
	鉄道ダイヤ接続	3
	ダイヤ	3
	利用したい	8
	分かり難い	8
JR 武豊線	増便要望	17
	その他	6
電車/名鉄	増便要望	5
知多バス		5
将来不安		3
新しい交通		2
不便		4
利用する事がない		6
その他		7
計		140

※ 回答 106 人、回答内容により 140 に分類

表 「公共交通」全体に関するご意見

	年齢	居住地区	運転免許	公共交通全体に関するご意見
う・ら・ら：増便要望	18・19 歳	緒川	無し	なかなか難しいとは思いますが、バスの本数がもう少し増えると助かります。
	70 代後半	緒川	有	昼間の運行時間帯を特に病院に行くときに、もっと多かつたらいいなと思います。
	50 代	緒川	有	通勤時間帯に東浦～刈谷に多数のうららを走らせて交通量を減らす。
	40 代	緒川	有	刈谷や大府駅と結ぶ路線の本数の増加について、お願いしたい。(通勤・通学時間帯の増便)
	高校生	緒川	無し	学習室を使うため、図書館に 9 時前に着くうららの便がほしいです。高校に通うため、刈谷駅に 7 時に着く便がほしいです。
	70 代前半	緒川新田	有	東ヶ丘～緒川駅東口の往復線(所要時間 30 分以内)を新設して、30 分ごとに 1 本の運行を検討してほしい。
	60 代前半	緒川新田	有	本数が少ないので都合が悪い。
	40 代	森岡	有	数が少ない。

	年齢	居住 地区	運転 免許	公共交通全体に関するご意見
う・ら・ら： 増便要望	70 代後半	森岡	有	「うらら」乗車したいが回数が少なく、無駄な時間を費やすことが多い。
	80 歳以上	森岡	無し	もっと増やす。
	18・19 歳	生路	無し	うららの本数を増やしてほしい。
	30 代	生路	有	本数が少ない。
	40 代	生路	有	本数少ないのも不便を感じる。
	40 代	生路	有	うららの本数をもっと多ければ、イオンに行くのに使えます。
	40 代	生路	有	うららの本数が少なすぎる。大変かもしれませんが、休みの土日くらいは本数をせめて 20 分に 1 本か、30 分に 1 本にしてくれば乗るかもしれない。
	18・19 歳	生路	有	15 分に 1 本くらいにしてほしい。
	40 代	石浜	有	もっと本数が増えれば利用しやすくなる。
	50 代	藤江	返納	うららの本数も見直してほしい。
	50 代	藤江	有	本数が少なすぎて気軽に使えない。80 歳代の両親（免許返納済み、東浦町在住）が、たまに利用しているが、やはり本数が少なすぎて帰りたい時間に帰れない。これからもっと老人が増える（自分を含め）ので、もっと本数を増やしてもらえないでしょうか。
	40 代	藤江	有	もっと刈谷方面に行くバスの本数を増やしてほしい。
	80 歳以上	藤江	返納	「う・ら・ら」の本数が少なく不便。そのため、なかなか利用できない。
う・ら・ら： 乗換・経路	40 代	緒川	有	乗り継ぎが大変なため、大府、東海市をまたぐ運行にしろと便利。
	70 代後半	緒川	有	せめて小型で良いからメドックの方へ来て、村中を走ってほしい。
	70 代前半	緒川新田	有	現状の L,R は効率が悪い。
	70 代前半	緒川新田	有	刈谷総合病院直通があると便利かと思います。
	70 代前半	緒川新田	有	L 線は乗車時間が長いので、乗りたくありません。
	50 代	森岡	有	路線のつながり、時間のつながりが悪い。どこからの路線でも、役場、文化センター前まではいけるようにしてほしい。
	40 代	森岡	有	駅へ行きやすい便が増えてほしい。または、大回りせずに駅へ行ける便がほしい。
	80 歳以上	生路	返納意向	左回り、右回りは遠くへ行くので、時間がかかる。
	50 代	石浜	有	うららの運行ルートで石浜団地から長寿医療センター、刈谷総合病院へ直通便を願います。
	50 代	藤江	返納	うららの路線も見直してほしい。
	50 代	藤江	有	かなり遠回りになることもあるので、時間がかかる。
	小学生以下	藤江	無し	乗り換えなしで行けるようになれば、うららの利用を検討したい。
	30 代	藤江	有	乗り換えなしで行けるようになれば、うららの利用を検討したい。
	30 代	藤江	有	乗り換えなしで行けるようにつなげて欲しい。
	80 歳以上	藤江	無し	長寿線への乗換が不便。
う・ら・ら： 鉄道駅乗入	70 代後半	緒川	無し	うららが巽ヶ丘駅を通過して頂けたらと思っています。
	中学生	緒川	無し	JR はバスに乗っても行けるけど、近くの名鉄にも行けるようなバスルートがあれば、移動が広がる。（東海市や刈谷市）
	70 代前半	緒川新田	有	名鉄巽ヶ丘駅まで行っていると、有難いです。ステンドの工房が巽ヶ丘駅近くにあるのでバス通勤できそうです。
	18・19 歳	緒川新田	無し	名鉄河和線の近くまで、うららバスを通してほしい。
	50 代	緒川新田	有	巽ヶ丘駅へのうらら乗入して欲しい。
	20 代	緒川新田	有	巽ヶ丘駅行きのうららが欲しい。
	40 代	森岡	有	大府駅に行きたい。

	年齢	居住 地区	運転 免許	公共交通全体に関するご意見
う・ら・ら： 鉄 道 駅 乗 入	50 代	森岡	有	名鉄駅へのアクセスがあると良い（知多地域への訪問の方法が無いため。特に東海市方面。）。
	40 代	生路	有	名鉄へ行くバスがあれば便利。うらが巽ヶ丘駅へ行ってほしい。
	60 代後半	生路	有	石浜駅付近にうらバス停が無いのは不安。
	40 代	生路	有	うらで JR と名鉄をコネクトできると、利用率は上がると思う。
	40 代	石浜	有	最寄り駅にうらバスが停車しないため不便。
	50 代	石浜	有	なぜ、うらは名鉄駅に行かないのですか？乗入れ出来たら、良いと思います。
	80 歳以上	石浜	返納	うらが石浜駅へ回らなくなったので、不便を感じる。
う・ら・ら： 運 行 方 法 ・ 停 留 所	70 代後半	緒川	有	乗りたくてもバス停が遠すぎる。
	40 代	緒川	有	住んでいる町境の公共交通機関が皆無なので使えない。東海・大府市と連携してほしい。それか、合併して欲しい。
	70 代後半	緒川	有	緒川の乾申院または佐藤新聞の近くにバス停を作ってほしい。
	40 代	緒川	有	緒川駅から刈谷駅まで行きたいときに時間がかかるので、経路を減らした快速便があるといいと思う。
	70 代後半	石浜	有	図書館のバス停が遠く、重い本を持ち歩くのが困難。
う・ら・ら： 運 行 時 間 帯	40 代	緒川	有	早い時間で運行が終わってしまう。
	20 代	生路	有	バスが夜までない。
	18・19 歳	生路	有	朝早い時間から動いてほしい。
	50 代	藤江	返納	うらの時間も見直してほしい。利用したい時間帯にバスがありません。
う・ら・ら： 運 賃	60 代前半	緒川新田	有	100 円でなく無料なら利用します。
	50 代	森岡	有	刈谷市のように無料で利用できると利用率が上がるかも。
	50 代	藤江	有	これからもっと老人が増える（自分を含め）ので、もっと本数を増やしてもらえないでしょうか。そのために料金を上げて良いと思う。距離によって料金を変えとか、キャッシュレス決済にするとか、是非、老人に優しい町にしたいです。
	中学生	藤江	無し	高校生以下は 10 円にしてほしい。東浦中までの登校をタダで。駅を増やしてほしい。
う・ら・ら： 鉄 道 ダイヤ 接 続	40 代	生路	有	武豊線が遅れている時、バスは待ってくれないのを見た（あと 1 分待てばというところ）。それはどうかなと思った。
	60 代前半	石浜	有	「うら」行きは時刻にあわせて出発できても、帰りはうらの来る時刻が合わず使えないので、自家用車を使用してしまう。武豊線や名鉄の駅に着く時間とうらの時刻が連絡していない時刻があり、遠くに行ったときに帰りにうらで帰ることができない。
	60 代前半	藤江	有	JR 武豊線とうらの乗継を考慮してほしい。
う・ら・ら： ダ イ ヤ	40 代	緒川	有	中央図書館の開館 10～15 分前に着くバスの時刻表を考えて頂きたいです。利用しやすくなります。
	70 代前半	緒川新田	有	東浦インター東から緒川駅東口まで行きたいが、13：54～16：47 の間、走っていない。困った！希望の時間帯に乗れません。
	70 代後半	石浜	有	げんきの郷へマイカーで行っているが、うらの連絡（時間）が利用者の都合になっていない。
う・ら・ら： 利 用 し た い	70 代前半	緒川	有	今はまだ自分の車で出かけていますが、そのうち「う・ら・ら」にお世話になりたいと思います。
	50 代	緒川新田	有	子供がうらを使ってイオンに行ったりするので、100 円で行けるのは、とても助かります。
	70 代前半	森岡	有	運転免許返納した後は、うらを利用したいと思っています。
	40 代	生路	有	子供が中学校へ行くときに、うらに乗ればいいのと思っていた。生路、藤江地区は自転車通学ですが、歩道や道の整備がされておらず危険。雨の日もカッパで常に不安でした。車運転側としても自転車の子供達危険と思うこともあります。うらで通学できれば、もっと身近に感じて使うようになるのと思いました。

	年齢	居住 地区	運転 免許	公共交通全体に関するご意見
う・ら・ら： 利用したい	70 代後半	生路	有	駅は 30 分に一回来るので、予定が立てられます。後期高齢者になったので、今後はうららも利用させていただく事になると思います。廃止にはしないで下さい。
	80 歳以上	石浜	返納	老夫婦で片方が免許を返納した場合、もう一方が買い物、通院にと生活している。さらに一年を経て免許を返納したら、我が家は 3 世帯なので誰かが送迎してくれると思っている。しかし、この機会にうららを使ってみようと思っています。（時間はあるので、急がない用事の時に）
	50 代	藤江	有	荷物が多い、疲れているときとか。うららは一度利用しましたが、とても助かりました。また機会があれば使います。
	40 代	藤江	有	特に、中学生も通学で使いたい。
う・ら・ら： 分かり難い	80 歳以上	緒川新田	返納意向	バス停が見にくい。時刻表が分からない。もう少し簡単に見れる表はできないでしょうか。
	60 代前半	緒川新田	有	時刻表が分かりにくい。字が小さい。
	80 歳以上	森岡	無し	分かり難い。
	80 歳以上	森岡	無し	分かり難い。
	20 代	生路	有	バスの時刻表が分かりづらい。
	50 代	石浜	有	ルートが変わったし、よくわからない。
	60 代前半	石浜	有	う・ら・らのルートが良く分からないので、利用していない。
	50 代	藤江	返納	目が悪いので、時刻表を見るのみ辛い。
JR 武豊線： 増便要望	50 代	緒川	有	武豊線は電車の時間の間隔が長く、利用がしづらい。
	20 代	緒川	有	武豊線の本数が増えると便利になる。
	50 代	緒川	有	武豊線が増便すると良い。
	70 代後半	森岡	有	JR も昼間時間帯は本数が少ない。もう 1 本くらい増やしてほしい。大府駅での乗換に 20 分の待ち合わせ時間は辛い。20 分駅で待つ時間を他の事に使いたい。
	40 代	森岡	有	まだ若く、車の運転に苦労しないため「う・ら・ら」には期待していない。JR の本数が増えれば望ましいが、単線でもあり厳しいと思う。
	高校生	森岡	無し	武豊線もうちょっと増やしてほしい（30 分に 1 本が今）
	18・19 歳	生路	無し	JR 武豊線の通勤・通学時間の本数を増やしてほしい。
	20 代	生路	有	JR 本数が少ない。
	40 代	生路	有	もう少し武豊線の本数を増やしてほしい。
	60 代後半	生路	有	JR 武豊線の本数が少ない。
	50 代	生路	有	武豊線の本数を多くしてほしい。
	20 代	石浜	有	夜、JR が 40 分に 1 本になるのは辛い。
	20 代	石浜	有	武豊線をせめて 20 分に 1 本。20：30 以降だと 30 分に 1 本になってしまうため、21：00 頃まで本数を増やしてほしい。
	50 代	藤江	返納	武豊線の本数を増やしてほしい。
	60 代前半	藤江	有	JR 武豊線：20 分～15 分間隔で運行してほしい。
	40 代	藤江	有	武豊線の本数が少ない。
	40 代	藤江	有	JR 武豊線、本数を増やしてほしい。
JR 武豊線： その他	20 代	森岡	有	尾張森岡駅に券売機ぐらいある、ちょっとましな駅になってほしい。
	60 代後半	森岡	有	大府駅から名古屋方面に出かける時、扱いが不便。
	高校生	石浜	無し	JR 石浜駅が朝と夕方にあるワンマン車両に乗ると、前の一両しかドアが開かないのが不満。全日、ワンマンはやめにして欲しい。
	40 代	藤江	有	駅のロータリーが狭すぎる。
	高校生	藤江	無し	武豊線で通学中、遅延が多い。大府駅での乗換の待ち時間が長い。（刈谷駅から帰宅する時）

	年齢	居住 地区	運転 免許	公共交通全体に関するご意見
電車 /名鉄： 増便要望	50 代	藤江	有	武豊線の乗換が無ければいいと思います。乗換があっても同一ホームの移動が楽でいいです。
	18・19 歳	緒川	無し	なかなか難しいとは思いますが、電車の本数がもう少し増えると助かります。
	30 代	緒川新田	有	名鉄の名古屋方面の電車の本数を増やしてほしい。
	20 代	生路	有	電車の本数が少ない。
	60 代後半	藤江	有	電車の本数を増やしてほしい。
知多バス	高校生	藤江	無し	電車の本数が少ない。
	70 代後半	緒川	無し	現在は、巽ヶ丘駅は主人の送迎に頼っていますが、そろそろ免許返納を考える時期に来ており、平日昼間、知多バスの駅間の事を考えますと、病院（週 2 回のリハビリ）に不安があります。
	40 代	緒川	有	巽ヶ丘駅までの路線バスの運行時間をもう少し遅くまで運行してほしい。
	20 代	緒川	有	巽ヶ丘駅までのバスの本数を増やして欲しい。今後、高齢化で車を手放す人も増えると思うので、廃線はしないで欲しい。
	50 代	緒川新田	有	巽ヶ丘駅へ本数を増やして欲しい。
将来不安	80 歳以上	緒川新田	有	東ヶ丘団地と名鉄巽ヶ丘駅との間は、知多バスが平日運行されていないので、不便を感じている。巽ヶ丘駅経由の検討をお願いしたい。
	40 代	緒川	有	農業地帯に住んでいる人は、公共交通機関が少なく、若い方がいいが、老後心配。シニアカーを使うにも、歩道が整っていないので危険。バス停が町境に無いので、住んでいるところからは使えない。
	40 代	緒川	有	住んでいる町境の公共交通機関が皆無なので使えない。老後心配。シニアカーを使っても歩道が無く、車の通行が多いため、易々と行動・移動ができない。
	30 代	森岡	有	今は使うことはありませんが、将来を考えると安心できます。
新しい交通	60 代前半	石浜	有	軽自動車や小型電気自動車が良いから、スマホで呼んだらそこに来てくれて、目的地に運んで欲しい。そうすれば利用する。
	70 代後半	生路	有	前もって連絡して少人数でピンポイントで行けると良いですね。
不便	50 代	緒川	無し	前回の路線変更やスケジュール変更により、車椅子でうららを使用したい方には、とても不便なことになりました。車椅子でイオン東浦に日帰りで行くことができません。どうして、あのような変更となったのでしょうか？
	中学生	森岡	無し	使おうと思ったことがあったのですが、時刻が微妙で使うことをあきらめたことがありました。
	60 代前半	石浜	有	不便です。
	60 代前半	石浜	有	自家用車に比べ、圧倒的に不便。
利用する事 がない	80 歳以上	緒川	有	自分の車で出かけるので分かりません。
	80 歳以上	森岡	返納	私の現在の「うらら」の利用状況ではほとんどアンケートにならないと思います。悪しからずご了承ください。
	70 代前半	森岡	有	今のところ、車があるので利用する事がない。
	70 代前半	生路	有	今まで一度も利用したことが無いので、分からない。家族 3 人で 4 台の車を所有しており、今はうららを利用する機会がありません。申し訳ありません。
	60 代後半	石浜	有	利用したことがないので、分かりません。
	60 代後半	藤江	有	今のところ、「うらら」を利用する事がない。
その他	70 代前半	緒川	有	子供達の通学時間帯に大人の方が利用していますが、子供たちがバスの中でいっぱいです。できたら、大人は子供達を見守ってあげる気持ちをもって、うららの時間帯を少しずらしてあげる心配りをしてあげて欲しいね！！
	60 代後半	緒川	有	高齢の 1 ～ 2 人家族で車が無く、離れた場所に住んでいる体が不自由な人達は、バスや公共交通は、なかなか、そこまで行く足が無いため、利用したくてもできない状態の人もある事も把握して欲しい。
	70 代前半	緒川新田	有	巽ヶ丘駅周辺の踏切を早く広くし、対向車とのトラブルを失くして欲しい。
	40 代	森岡	有	森岡駅の駐車場が欲しい。
	50 代	森岡	無し	大府駅まで。アピタ。

	年齢	居住 地区	運転 免許	公共交通全体に関するご意見
	70 代後半	生路	有	近い場所に名鉄河和線が通っていたら？
	20 代	藤江	有	このアンケート用紙をカラーコピーである必要がどこにあるのでしょうか。もう少しコストを抑えて欲しいです。

5 質問5 「う・ら・ら」に対する施策について

(1) 質問5 ①自宅近くのバス停の認知度の調査結果

- ・ 9 割の方が、自宅近くのバス停を知っています。

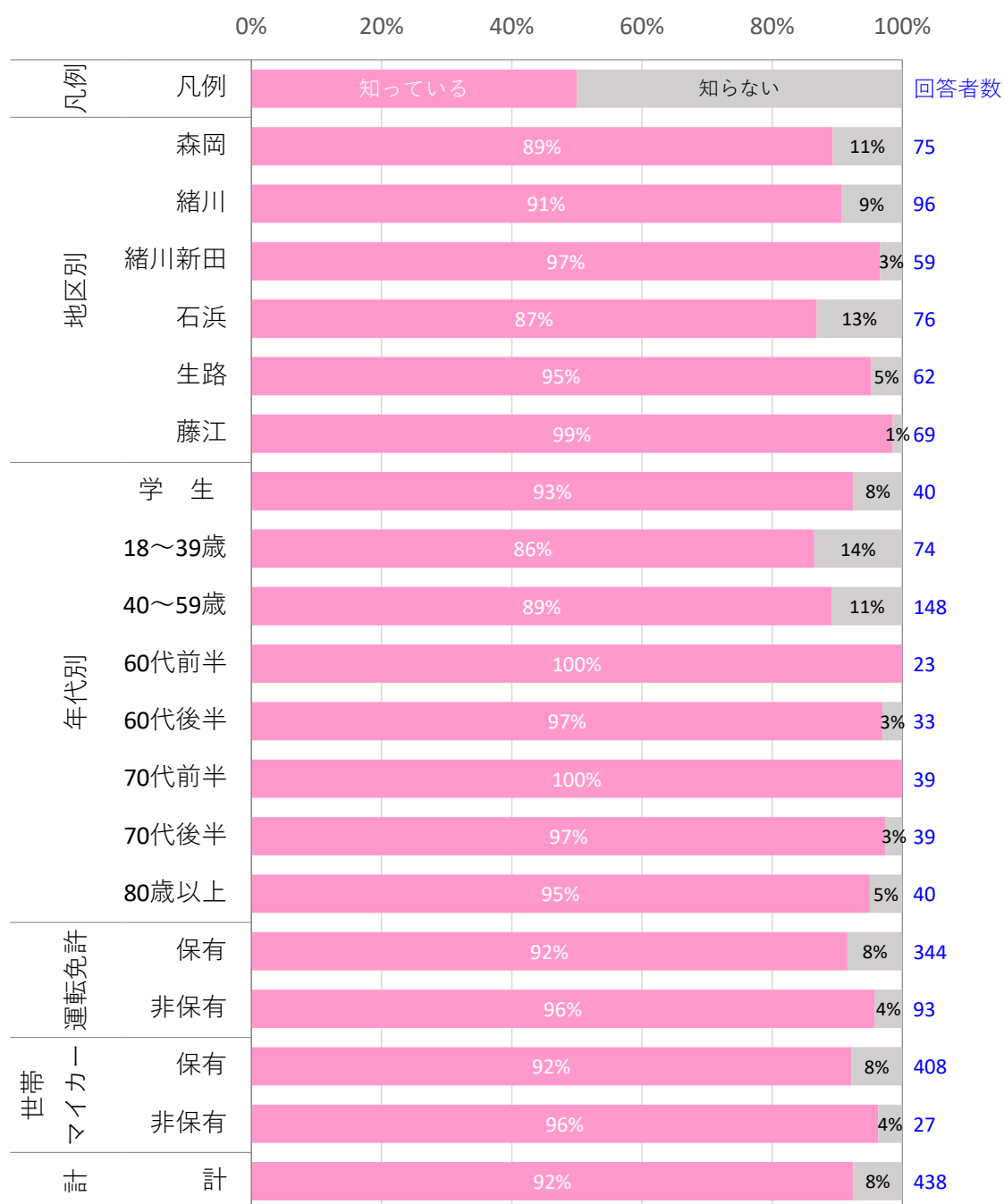


図 自宅近くのバス停の認知度（属性別）

（２）質問５ ③「う・ら・ら」の利用可能目的の調査結果

- ・ 「う・ら・ら」を利用できそうな目的としては、４割が「家族にクルマ送迎してもらえないとき」をあげており最も多くありました。次いで、「買い物」、「通院」、「遊びに出かけるとき」でした。
- ・ 「学生」は「遊びに出かけるとき」、65 歳以上は「買い物」、「通院」が他の年代と比較して多い傾向があります。

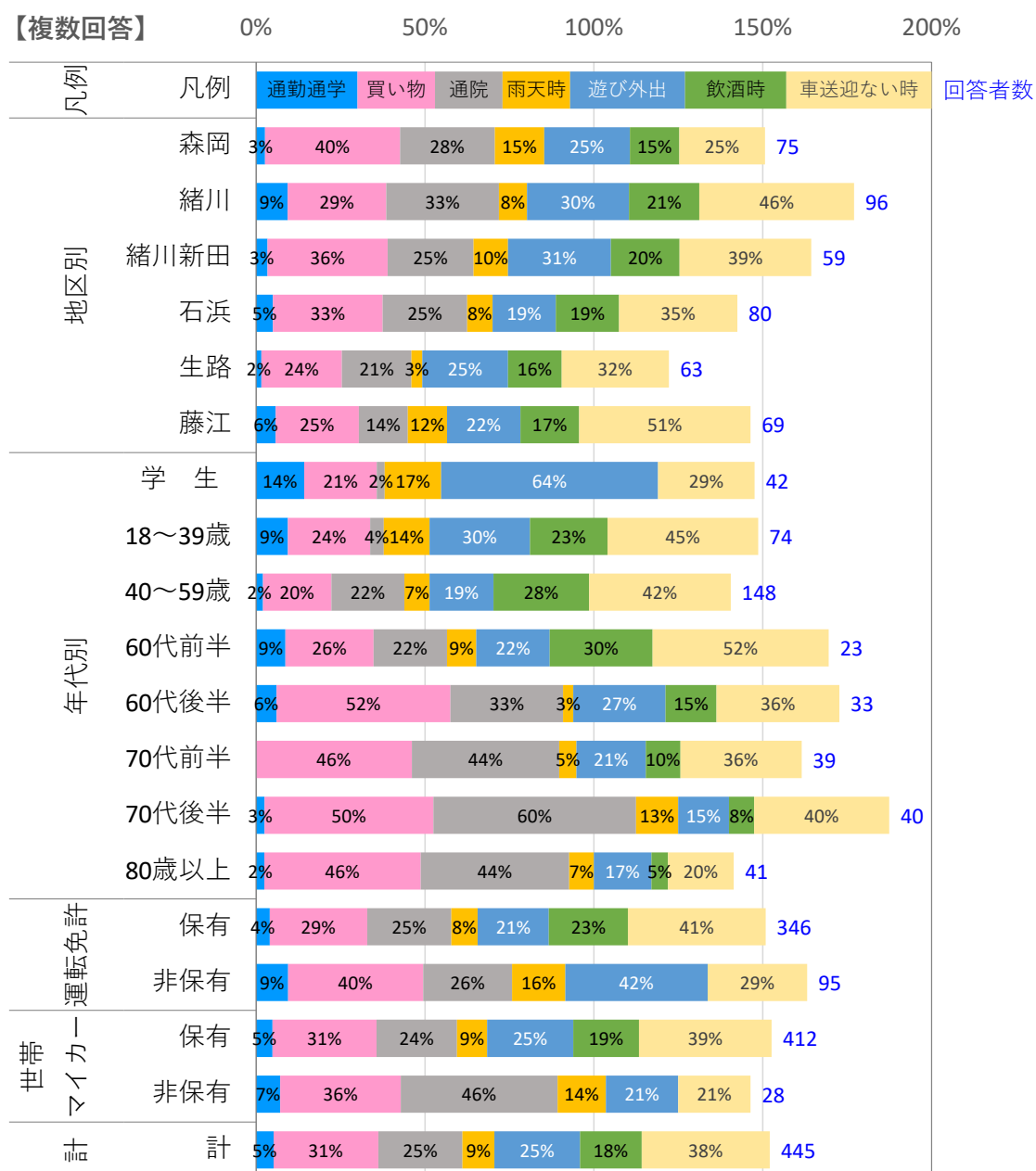


図 「う・ら・ら」の利用可能目的（属性別）

(3) 質問5 ④「う・ら・ら」の利用可能目的地の調査結果

- ・ 「う・ら・ら」が利用できそうなおでかけの目的地として、368 人から 503 か所の回答がありました。
- ・ 6 割の方が、「イオンモール東浦」をあげています。

イオンモール東浦	226
JA あぐりタウンげんきの郷	81
役場・図書館・文化センター	27
あいち健康の森公園	12
長寿医療研究センター	11
於大公園	10
緒川駅	8
東浦駅	6
ドミー東浦	5
産業まつり	4
刈谷豊田総合病院	28
刈谷駅・刈谷方面	22
大府駅	6
その他鉄道駅	7
病院	7
その他（町外、飲食店・商店など）	43
計	503

図 「う・ら・ら」の利用可能目的地

（４）質問５ ⑨おでかけプランの実行意向の調査結果

- 考えたおでかけプランの実行について、３割が実際にやりたいと「思う」、「少し思う」と回答しています。
- 実行できそうと思う割合が多いのは、中高年よりも「学生」や「高齢者」の方、運転免許の保有者より非保有者の方であることが分かりました。

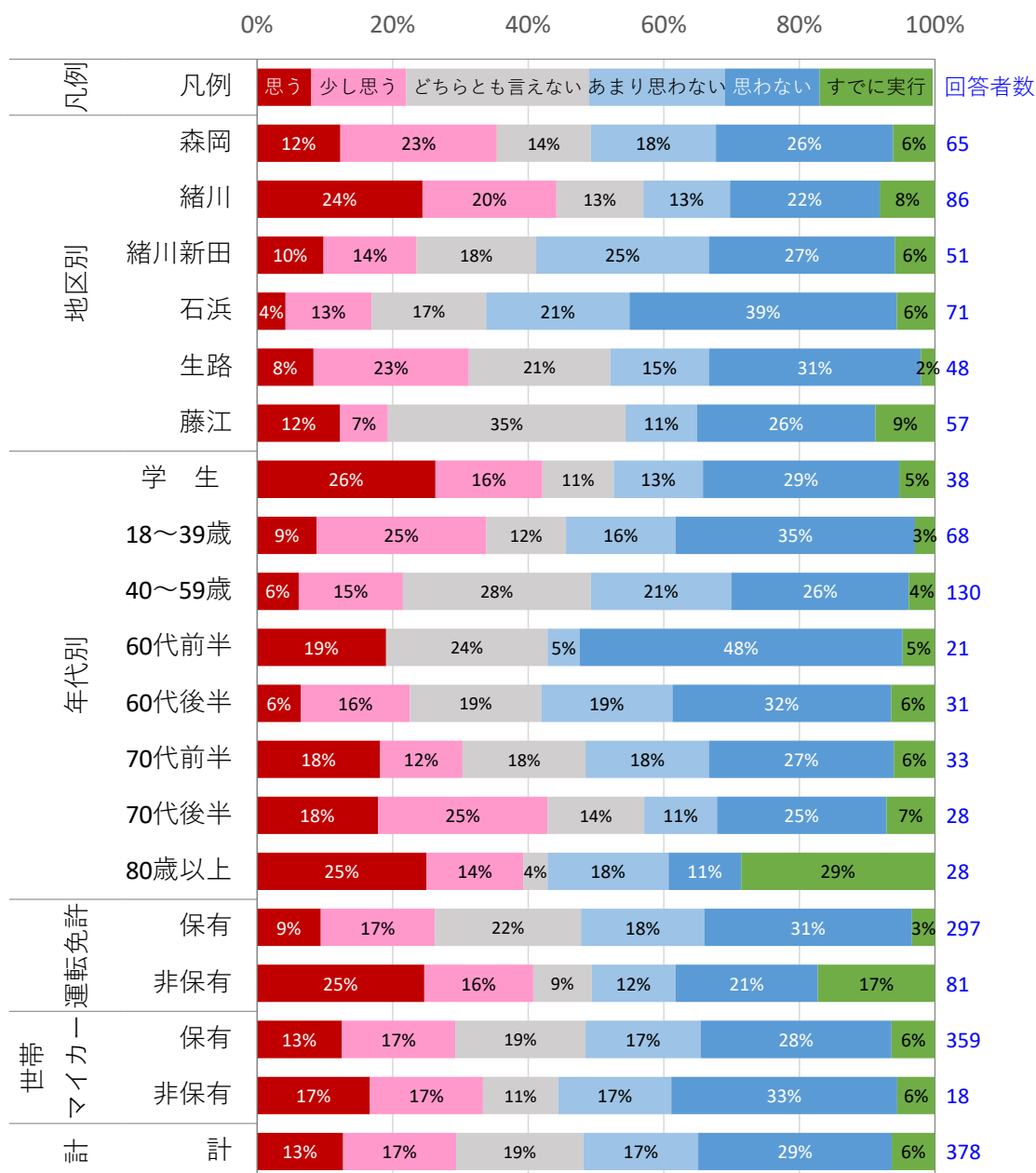


図 「う・ら・ら」利用のおでかけプラン実行意向（属性別）

（４）質問５ ⑩おでかけプランの実行日程の調査結果

- 考えたおでかけプランの実行日程について、「今日、明日にでもできそう」、「１週間以内にはできそう」、「２～３週間以内にはできそう」、「１か月以内にはできそう」と、実際の期限を回答いただいたのは約２割にとどまりました。
- ⑨と⑩より、「学生」の実行意向が最も高いことが分かりました。

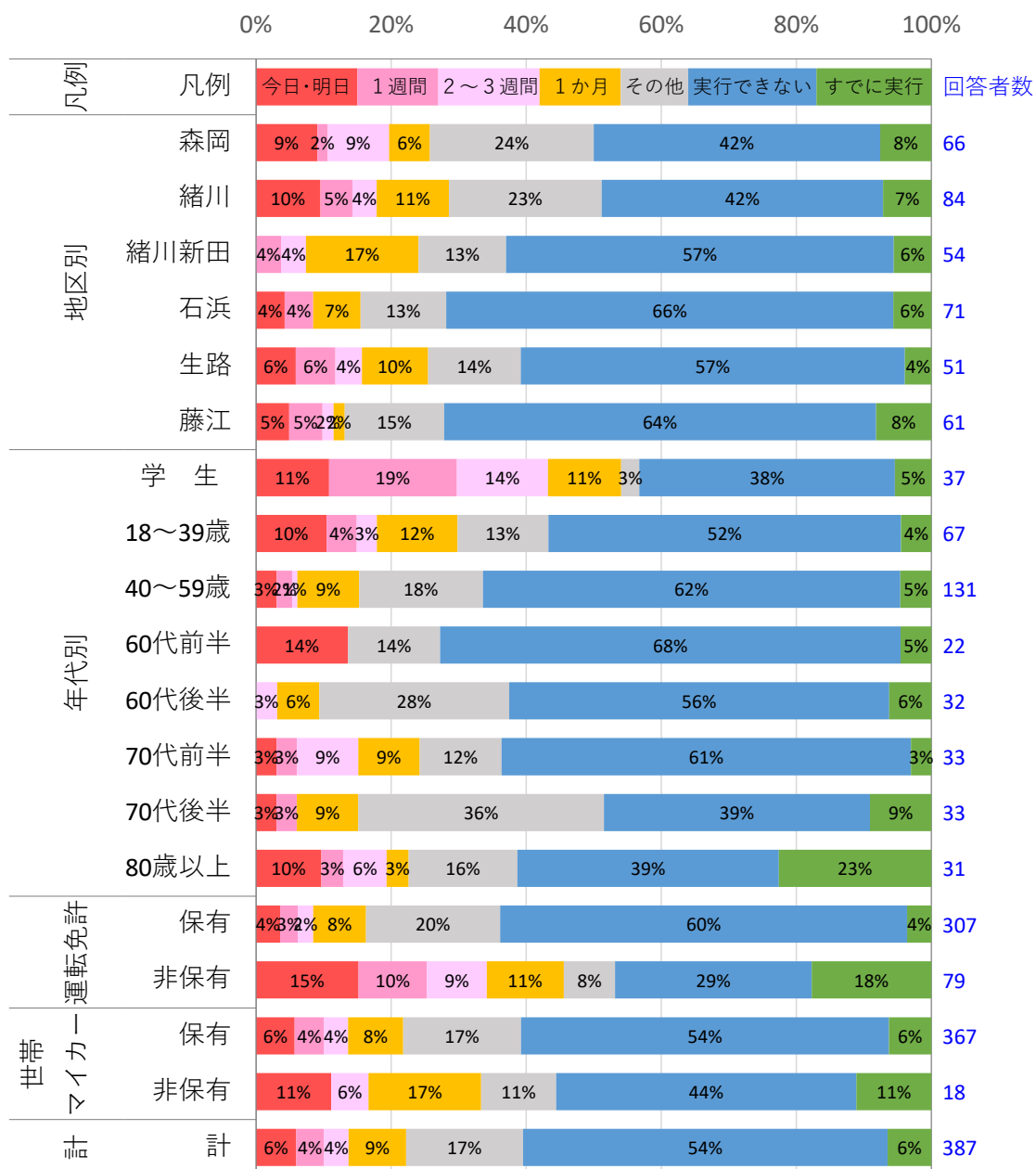


図 「う・ら・ら」利用のおでかけプラン実行日程（属性別）

第3章 グループインタビューの調査結果

1 目的・調査概要等

1 目的

アンケート調査では「町全体の意識等を定量的に把握すること」を目的としていたことに対して、グループインタビューでは「地域ごとの個別具体的な要望等を定性的に把握すること」を目的としています。

2 調査概要等

開催日	令和3年10月30日（土）、11月3日（水・祝）、11月23日（火・祝）
開催場所	各地区コミュニティセンター及び県営東浦住宅集会所
対 象	7小学校区（森岡、緒川、卯ノ里、片葩、石浜西、生路、藤江）の老若男女
参加者数	計70名（森岡10名、緒川8名、卯ノ里12名、片葩15名、石浜西9名、生路7名、藤江9名）
内 容	住民の公共交通に対する意識、利用状況、政策への意向を把握するため、グループインタビュー形式でヒアリングを実施する。定員やヒアリング時間は、定員10名以内、ヒアリング時間1時間程度とする。 また、全体の流れは「1 地域公共交通の大切さ（説明）」、「2 自己紹介（公共交通との関わり）」、「3 テーマ別意見交換会」、「4 感想用紙の記入・提出」としている。
まとめ	① 多くの方がバスやタクシーのサービス内容（運行路線、発着時刻、運賃）等を詳しく知らないため、移動手段の選択肢に入っていない状況である。 ② 公共交通の利用に不慣れな方へのサービス内容自体の周知が必要。 ③ 医療施設、買い物への移動を軸に、刈谷ハイウェイオアシスやおおぶ文化交流の杜等といった楽しい目的地へ行けるバスサービスの見える化が必要。 ④ 「う・ら・ら」の路線に関する改善要望（9時台の環状線（左回り・右回り）の増便、早朝・13時台の長寿線の増便、他路線と刈谷線との乗継利便性の向上など） ⑤ 「う・ら・ら」は特に高齢者の乗り物というイメージがついてきている。今後のためにも、公共交通＝老若男女誰でも気軽に利用できるといったイメージの転換が必要。 ⑥ 新たな公共交通の試行運用は、現在、町内に存在しないサービスのため、導入後の利用をイメージしづらい状況である。

2 調査結果

(1) 卯ノ里小学校区

開催日時	令和3年10月30日(土) 午前10時30分～
開催場所	卯ノ里コミュニティセンター
対 象	卯ノ里小学校区の老若男女
参加者数	12名(うち2名がオンライン参加)
年代別	学生:0名、18～39歳:3名、40～59歳:4名、60代前半:0名、60代後半:2名、70代前半:1名、70代後半:0名、80歳以上:2名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(ダイヤ/緒川、刈谷、健康の森方面へのニーズ) ② 知多バスについて(東ヶ丘団地線の利用) ③ タクシー利用について(巽ヶ丘駅等からの利用) ④ 新たな公共交通の試行運用について(丸池台住宅地⇄マルス東ヶ丘店での「う・ら・ら」乗り換え)
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① 巽ヶ丘駅へ行く際には、雨なら歩き、晴れた日は自転車を利用する。バスは時間が合わないことが多いので「なら歩く」となりがち。 ② 環状線(右回り)の便数が少ないのが問題と感じている。イオンモール東浦で乗り換えて刈谷豊田総合病院に行くのに1時間待つ場合もある。 ③ 「う・ら・ら」は、18時台で運行が終わってしまう。イオンモール東浦で映画を見て食事をする場合、20時台まで運行があるとありがたい。 ④ 子どもとバスに乗って1時間かけてイオンモール東浦に行ったときには、車内でやることなく子どもが飽きてしまった。時間がまぎれるものがほしい。Wi-Fiがあればスマートフォンでゲームや本が読める。 ⑤ 子どもだけでバスを利用させる際には帰りが困る。行きは家で調べておけばいいが、帰りに現地でどうやって調べさせればいいのかのだろうか。 ⑥ イオンモール東浦には同時刻帯に複数のバスが乗り入れているので、どのバスに乗車すればいいかが分かりづらい。 ■行きたい場所 ① げんきの郷に行きたい。 ② 長寿医療研究センター直行便がもっとあればいい。 ③ 「う・ら・ら」と「かりまる」を乗りかえれば刈谷ハイウェイオアシスまで100円で行ける。誘い合わせていくのもありか。 ④ 於大公園へは於大まつりがあるときだけ行く。それ以外は行かない。
感想用紙	① 隣接する市町のダイヤなどと組み合わせたおでかけプランをPRするイベントを開催し、公共交通に興味を持ってもらえる仕掛けが必要。 ② 買い物や映画館に行くためにアピタ阿久比店に行きたい方は多くいるのではないか。

	③ 車内に Wi-fi を設けるのもいいが、ニュースが流れるモニターがあるといい。 ④ 今回のグループインタビューを受けるまで、「う・ら・ら」についてあまり知らなかった。身近なものになれば使ってみようと思えるようになるではないか。 色々なところでアピールしていただきたい。 ⑤ これから子ども達が大きくなったとき、自分たちだけでバスに乗って遊びに行くことがあると思う。その時にバスが有効だということに改めて気づかされた。親としてはちゃんと行って、帰ってこられるかが一番心配なところなので、子ども達だけでも安心して帰ってこられるのが一番のポイントかと思う。 ⑥ 緒川小学校区の通学利用のバスがダイヤの縛りになっているのであれば、学区の見直しをしてみتهいいのでは。 ⑦ 色々な年齢の方の意見要望があり、有意義だった。 ⑧ ダイヤ改正をお願いしたい。
--	---

(2) 森岡小学校区

開催日時	令和3年10月30日(土) 午後1時30分～
開催場所	森岡コミュニティセンター
対象	森岡小学校区の老若男女
参加者数	10名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：1名、60代前半：2名、60代後半：2名、70代前半：4名、70代後半：1名、80歳以上：0名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(緒川、刈谷、その他の方面) ② 知多バスについて(大府線の利用) ③ ふれあいバス(大府市循環バス)について(乗継利用) ④ タクシー利用について(大府駅等からの利用) ⑤ 新たな公共交通の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄ドミー東浦店⇄尾張森岡駅)
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① 森岡から刈谷に行く場合、行きのダイヤはいいが、帰りのダイヤがなくネックになっている。 ② バスをはじめ公共交通の使い方がわかっていないことが恥ずかしいと思われる方が多い。 ③ 森岡から図書館に行くのが不便と感じることがある。バスの便はあるが、最寄りのバス停から目的地への行き方が特に高齢者には理解しがたいところがある。 ④ 時刻表の読み方が分からない。 ➤ バスの時刻検索が高齢者には非常に困難。スマートフォンの利用を前提にするのではなく、高齢者の検索方法も考えていただきたい。 ➤ 最寄りのバス停があるが、バス停の時刻表の見方に慣れていないことが

	バス利用の障壁になっている。 ⑤ 保健センターで実施している企画「脳トレ」にバスで行きたいがいいダイヤがない。 ■行きたい場所 ① JR 武豊線を利用する場合、森岡東側は尾張森岡駅に、森岡西側、特に森岡台は大府駅まで行く。そのため、大府駅まで直接行きたい ➤ 森岡台から大府駅まで知多バス「大府線」が運行している。「う・ら・ら」だけでなく東浦町の公共交通全体の利用をどう増やすかという視点で「う・ら・ら」を見ることが重要。 ② イオンモール東浦は、ATM(三菱UFJ、知多信用金庫、西尾信用金庫、JAあいち知多、ゆうちょ、イオン銀行)が揃っている。そのため、年金支給日には、高齢者が年金を下すためにイオンモール東浦に行っている。 ③ おおぶ文化交流の杜「allobu」に行きたい。 ④ 森岡から大府の病院に行く人は、「ふれあいバス(大府市循環バス)」を利用することがある。買い物には大府市の商業施設(リソラ大府、アピタパワー大府店、ドミー大府店)にはわざわざ行かない。 ⑤ 刈谷ハイウェイオアシスに行けるようになれば楽しくお出かけできる場所が増える。 ⑥ 森岡地区から刈谷豊田総合病院、よしだ眼科、松岡整形外科など行くために、朝もう一本早いダイヤが欲しい。 ■その他 ① 森岡台に住む高齢者等の買い物困難者への対応が必要。 ② 長寿医療センターでの予約時間の傾向を鑑みたバスのダイヤに再編するとより便利になるのではないか。長寿医療センターでの予約時間は 00 分、15 分、30 分と刻んでいる。 ③ イオンモール東浦で「う・ら・ら」の定期券を買えるのが非常に便利である。 ④ 刈谷豊田総合病院にバスで行けることは非常にありがたい。
感想用紙	① 公共交通ですべてをまかなうのは難しい。特に高齢者の移動は、社会福祉の協力も交えて考えられると良い。 ② 刈谷豊田総合病院への乗継ぎ利便性の向上を考えていただきたい。 ③ 公共交通として、公共施設(文化センター、各地区コミュニティセンター)への乗入れ頻度を上げれば良いのではないか。 ④ 長寿線(緒川駅東口行)で、長寿医療研究センター7:30 発ほどの朝の便を増やしていただきたい。 ⑤ 長寿線(緒川駅東口行)で、長寿医療研究センター13:20 発があると便利である。 ⑥ 長寿線(長寿医療研究センター行)で、緒川駅東口 12:30 発があると便利である。

	⑦ 自動車を常に利用している人より、公共交通を利用している人の方が元気だという話には驚いた。今回のグループインタビューを機に、「う・ら・ら」を使ったウォーキングをしてみたいと思った。 ⑧ この発着時刻で、この目的地に行けるなどといった情報を発信していただきたい。
--	---

（３）緒川小学校校区

開催日時	令和３年１０月３０日（土）午後３時３０分～
開催場所	緒川コミュニティセンター
対象	緒川小学校校区の老若男女
参加者数	８名
年代別	学生：０名、１８～３９歳：０名、４０～５９歳：０名、６０代前半：０名、６０代後半：０名、７０代前半：３名、７０代後半：１名、８０歳以上：４名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について（刈谷や健康の森方面へのニーズ） ② 知多バスについて（刈谷中部空港線の利用） ③ タクシー利用について（イオンモール東浦等からの利用） ④ 新たな公共交通の試行運用について（旧道に面した住宅地⇨緒川コミュニティセンターで「う・ら・ら」乗り換え）
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① バス停が家から遠い（５００ｍほど）。 ➢ 乗合タクシーや小型モビリティなど新たな公共交通で狭い道まで入り、コミュニティセンターで乗り換えるのも、１日数本であれば使いにくいので使わないと思う。 ② バス停に屋根がない。 ➢ 道が狭く、歩道の要件等で作れない。 ■行きたい場所 ① 孫と「う・ら・ら」でげんきの郷に行っている。 ➢ 時間さえ調べて知っておけばすごく便利である。 ➢ 駐車場探しに苦労しなくていい。 ② 病院は長寿医療研究センターに行く人が多い。 ③ 尾張森岡駅から電車に乗って名古屋に行っている。 ➢ 尾張森岡駅には駐輪場がある。 ➢ 尾張森岡駅は階段を使わずに乗場に行けるのが良い。 ➢ 緒川駅にもエレベーターがついて良かった。 ④ 刈谷市によく行く。刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」を使うので時刻表を持っている。 ➢ 刈谷市の北側にも南側にも行っている。 ➢ 刈谷ハイウェイオアシスに行っている。すごく楽しい。

	⑤ 刈谷市と知立市に行きたい。 ➤ 知多バス「刈谷中部空港線」が刈谷市と知立市に行くことを知らなかった。 ➤ 刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」の時刻表を、各所で配架すると利用がより活発になると思う。 ⑦ 「ふれあいバス（大府市循環バス）」を利用して、おおぶ文化交流の杜「allobu」に行ってみたい。 ■その他 ① 「う・ら・ら」がノンステップバスになって利用しやすくなった。 ② 普段はバスに乗らないが、空港に行く時は知多バス「刈谷中部空港線」を利用した。 ③ 老人会の飲み会するとき、緒川駅から刈谷線に乗って開催場所（公共施設）まで行った。運賃も安く行けたのが良かった。 ④ 「う・ら・ら」と刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」との接続をよくしていただきたい。 ⑤ 老人会とき、自家用車で相乗りすると、事故の危険性等から家族に叱られる。危ないと分かっているが、それに代わる移動手段がないと思っていた。これからは公共交通を上手に使って行きたい。 ⑥ バスの中で立って乗車していいのか、どうかが分からない。 ➤ 小型 11 号車以外は立って乗っていただくことが可能。 ⑦ 刈谷市や大府市の施設等に行くおでかけプランを実施した際に、参加したいか。 ➤ 参加したい。自分の周りは時間に余裕がある人が多いため、一緒に参加できる人もいると思う。
感想用紙	① 「う・ら・ら」と公共交通を乗り継いで、小旅行ができるコースを作って、利用したい（行先の例：尾張横須賀まつり（東海市）、佐布里池梅まつり（知多市）等）。 ② 友人と出掛ける時は、公共交通を利用して出かけるように心がけたい。 ③ 「う・ら・ら」もうまく使えば便利だということが分かった。おでかけプランで「う・ら・ら」を利用する自信が付けば、利用する方も増えるのではないかな。 ④ 天白ふれあい広場や実盛山ふれあい広場まで行けるバス停があると良い。

(4) 生路小学校区

開催日時	令和3年11月3日(水・祝)午前10時～
開催場所	生路コミュニティセンター
対象	生路小学校区の老若男女
参加者数	7名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：2名、60代前半：0名、60代後半：3名、70代前半：2名、70代後半：0名、80歳以上：0名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について(東浦高校線の利用等) ② 巽ヶ丘駅の乗継利用のニーズ ③ タクシー利用について(電話による依頼等) ④ 新たな公共交通の試行運用について(旧道に面した住宅地⇄アイプラザ)
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① わからないことを運転士に尋ねた際に、不愛想な対応をされ、不快に感じたことがある。 ② 刈谷への移動について、行きはいいが、帰りの時間が自身の都合に合うバスがないことがある。 ③ 時刻表・路線図について ➢ 高齢者には、時刻表や路線図を見て目的地に移動するルートを考えるのが困難。 ➢ 時刻表の字が細かく見にくいことが高齢者にとってバス利用を難しく感じさせる要素となっている。 ④ イオンモール東浦から「う・ら・ら」の東浦高校線(文化センター経由)に乗ろうとしたとき、満員で乗れなくなった経験がある。一回の印象で良し悪しを判断し、「う・ら・ら」=混んでいて乗れないものという印象を抱いている人もいる。 ■行きたい場所 ① 体育館東からアイプラザ、東浦町役場への移動に「う・ら・ら」を使うことがある。 ② 買い物でにぎわい市場マルス本店に行きたいので、目の前にバス停が欲しい。 ③ 東浦町から東海市や知多市の高校に通う高校生がいる。「う・ら・ら」で巽ヶ丘駅へ行くルートがあればより便利になると思う。 ④ 石浜駅前の耳鼻咽喉科みやこクリニックがあるが、「う・ら・ら」が石浜駅には乗り入れていない。患者さんがもし「う・ら・ら」で通院することができれば便利に感じるのではないか。 ➢ 石浜駅での「う・ら・ら」の利用が非常に少なかったため、石浜駅経由のルートを廃止した。病院が点在しているのが「う・ら・ら」

	の運行ルートを考えるうえで難点となっている。 ➤ 通院等の地域内での移動について、住民主体で対応策（新たな公共交通の導入等）を検討する議題を上げるも、利用に関するイメージやニーズは出てこなかった。 ■その他 ① 子どもが免許を取ってから自由に使える車がなくなり、「う・ら・ら」を利用するようになった。 ② 子どもの自由研究で地域を回る際に、「う・ら・ら」を利用したことがある。 ③ スーパーでの買い物帰りに「う・ら・ら」に乗る利用者を見ていて、両手に買い物袋持って大変そうだった。バス停ではなく家の最寄りにバスが止まってくれたらより便利では。 ➤ バス停外での乗降を可能とする「フリー乗降区間」の導入は、安全の担保が確認できてはじめて可能となるため、現在の道路状況では困難。バス停は利用者の乗降、周辺環境などにおける安全性を考慮して設置している。また、「う・ら・ら」沿線でバス停を設置できる場所が非常に限られるというのが実情。 ④ 令和3年2月のダイヤ改正以降、乗り換えの時間が短くなった印象がある。 ⑤ 「う・ら・ら」の「乗り継ぎ券」のことを知らずに、乗り換えした際に、もう一度100円を支払う方がいた。 ➤ 乗り継ぎに関する案内がない。 ➤ 武豊町のバスは車内モニターで乗り継ぎ案内を実施している。さらに観光案内も行っている。 ⑥ 免許返納された方でバス停に行くことが困難な方がいる。例えば、長寿医療センターに行く人同士で相乗りして移動できる仕組みがあれば便利になる。 ➤ 既存タクシー会社の利用者を取らないことを条件に、福祉有償運送や空白地有用運送等の仕組みを活用して実施することは可能。 ⑦ グリーンスローモビリティの様な新たな公共交通を生路で運行するの がどうか。 ➤ 生路内のみでの移動はあまりないのではないか。 ➤ 地域内移動の選択肢の一つとして留意。 ⑧ 地域住民組織を立ち上げ、地域のお出かけをサポートする体制づくりも住民の意思があれば可能。 ➤ 住民自身が主役となり地域の公共交通の在り方を考えていく基盤が大事。
感想用紙	① 「う・ら・ら」のことを保険と同じように考えるべきという加藤先生の

	お話し、とても良く理解できた。今日を機に月に1回は「う・ら・ら」を利用しようと思う。なくなったら大変なので。 ② 名鉄線に乗れるルートがあれば便利になる。 ③ 高齢者がバスを待っている間に立っているのが大変そうなので、バス停にベンチを置けると良い。 ④ 「車に乗れるうちに、公共交通に乗る練習をする必要がある」という言葉が印象に残った。町民の方々に「う・ら・ら」を体験してもらう試みが必要だと思う。 ⑤ 巽ヶ丘駅方面へは用事がないので行かない。 ⑥ 老人会等で公共交通に関する働きかけをしてほしい。 ⑦ よく利用される病院やショッピングセンター等については、目的地別の時刻表を提示してほしい。
--	---

(5) 藤江小学校区

開催日時	令和3年11月3日（水・祝）午後1時30分～
開催場所	藤江コミュニティセンター
対象	藤江小学校区の老若男女
参加者数	9名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：3名、60代前半：0名、60代後半：2名、70代前半：1名、70代後半：0名、80歳以上：3名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について（東浦高校線の利用等） ② 巽ヶ丘駅への乗継利用のニーズ ③ タクシー利用について（電話による依頼等） ④ 新たな公共交通機関の試行運用について（東浦高校線の通っていない須賀川以南の住宅地⇄東浦駅）
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① 雨、寒さ等をしのぐために屋根があるバス停が望ましい。 ② 「う・ら・ら」ができた時は子どもが小さかったので利用したが、今は利用していない。バスでいろんなところに行けて楽しかったが、生活にゆとりがなくなり、すぐ行きたい場合には車を利用するようになった。 ③ 「う・ら・ら」を使っている高齢者数名からは、バス停まで歩くのが辛いといった意見を頂いた。 ④ 昔は長寿医療研究センターまで一本で行っていたが、今は複雑なので使いづらい。 ■行きたい場所 ① 巽ヶ丘駅に行くようになったらいいと思う。 ■その他 ① 外出が健康につながるので、「う・ら・ら」でできないものは地域資源

	で補完したい。 ② 刈谷市に行く知多バス「刈谷中部空港線」があることを知らなかった。 ③ 19時台のJRと「う・ら・ら」の接続ができるとありがたい。 ➤ 最終便を遅らせるのは簡単だが、労働時間が13時間になる。人件費は全経費の約7割なので二人にすると運行委託費は1.7倍になる。それに対して、夜は利用が多くないので「う・ら・ら」を走らせていない。
感想用紙	① 平池台に住んでいるが、床屋さんや病院（浅井外科）も阿久比町に行っている。マルス東ヶ丘店や巽ヶ丘駅へのアクセスも考えていただきたい。 ② 「う・ら・ら」で巽ヶ丘駅に行きたい。 ③ それぞれ駅でのすてきな所の紹介をしてほしい。 ④ スーパー・銀行・郵便局等があるため東浦駅周辺にも、役場・保健センター・中央図書館にもアクセスしやすい環状線（左回り）を増やしてほしい。 ⑤ 現に困っている人、これから困るかもしれない人、まだ困っていない人で要望が大きく異なるので、世代（ライフスタイル）別にして公共交通を考え合う場を作るのが良いのでは。

（６）石浜西小学校区

開催日時	令和3年11月23日（火・祝）午前10時～
開催場所	県営東浦住宅集会所
対象	石浜西小学校区の老若男女
参加者数	9名
年代別	学生：0名、18～39歳：0名、40～59歳：0名、60代前半：1名、60代後半：1名、70代前半：3名、70代後半：4名、80歳以上：0名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について（東浦高校線の利用等） ② タクシー利用について（電話による依頼等） ③ 新たな公共交通の試行運用について（旧道に面した住宅地⇄アイプラザ⇄石浜駅）
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① 足が悪いので緒川駅での乗り換えが非常に大変（特にノンステップバス以外）。バスを選んで乗っている。 ② 運転手の威圧感がすごかったことがある、気楽に便利に使いたい。 ③ 高齢者はイオンモール東浦から帰ってくる際に、環状線（左回り）と環状線（右回り）のどちらに乗ったら良いかわからない。 ④ 早い時間のバス、遅い時間のバスがないので自転車で緒川駅まで行っている。

	⑤ 13 時台に長寿医療センター発のバスがないため不便（2 時間待たないといけない）。 ⑥ アイプラザのバス停まで歩くのが大変な人はタクシーを使う。 ⑦ タクシーを呼んでもなかなか来ないことがある。どのタクシー会社を呼ぶと早いか等の情報も持っていないのでわからない。 ■行きたい場所 ① 飲みに行くときは「う・ら・ら」で緒川駅に行き JR 武豊線を使う。 ■その他 ① イオン発着のバスは時間がちょうどよく便利である。 ② 運転手が乗継券に日付を書いているが、人数が多いと大変そう。 ③ 新たな公共交通の試行運用の目的地について、石浜駅は緒川駅からも電車で行けるので、あえて作る必要性は薄い。 ④ 石浜コミュニティセンターから片葩小学校までの狭い道をなぜ走るのか。令和元年 10 月以前に走っていた広い通りを運行した方が良いのではないか。 ➤ 令和元年 10 月のダイヤ改正の際に行ったグループで強い要望があった。 ➤ 岡田接骨院への通院が便利になった。
感想用紙	① バスを走らせることは大変だということが分かった。この説明会があれば、また参加したい。 ② 皆さんの意見を聞いて、バスに乗ることが必要だと感じた。バスの乗る体験をしていきたい。 ③ バス停の時刻表が低い位置にある。また、時刻表を照らす照明があると良いのではないか。 ④ まだバスの時間をみて理解できるが、この先は心配。 ⑤ バスの乗務員に思いやりを持っていただくのと同時に、乗客もマナーを守ることが大切。 ⑥ 気になっていたことを聞くことができてよかった。参加して、話を聞くことで納得がいくこともあった。

（7）片葩小学校区

開催日時	令和 3 年 11 月 23 日（火・祝）午後 1 時 30 分～
開催場所	石浜コミュニティセンター
対象	片葩小学校区の老若男女
参加者数	15 名（うち 1 名がオンライン参加）
年代別	学生：0 名、18～39 歳：0 名、40～59 歳：3 名、60 代前半：2 名、60 代後半：3 名、70 代前半：3 名、70 代後半：3 名、80 歳以上：1 名
個別テーマ	① 「う・ら・ら」について（東浦高校線の利用等）

	② 県営東浦住宅の改築等によるニーズの変化 ③ タクシー利用について（電話による依頼等） ④ 新たな公共交通の試行運用について（南ヶ丘の住宅地⇄アイプラザ⇄石浜駅）
主な意見	■具体的に何が公共交通の利用を妨げているのか ① 石浜地区から刈谷豊田総合病院に行く際に、緒川駅での待機時間がある。緒川駅に 30 分ほど休める待合室があればありがたい。 ② 石浜地区から緒川駅へは約 10 分で行くことができ便利。しかし、使いたい時間帯にバスが走っていないことがある。 ③ 停留所が欲しいが、歩道が狭く、坂が多いため設置できる場所がない。 ④ 環状線（左回り）と環状線（右回り）の違いに気づかずバスに乗りして、目的地と反対方向に行ってしまったことがある。分かりやすくしてほしい。 ⑤ 「う・ら・ら」は高齢者が乗るものといったイメージがある。 ■行きたい場所 ① 石浜駅前のみやこクリニック（耳鼻咽喉科）に行きたい。 ■その他 ① 東浦高校線について ➢ ダイヤ改正後から、バスに乗りやすくなったという声が増えた。 ➢ 366 号線沿いと片葩小学校の南側にもバス停があると良い。 ➢ 便数が少ないのがネック。 ② 病院から帰るために、長寿医療研究センター13 時台発の便が欲しい。 ➢ 診察時間が 12 時を過ぎることが多々あるため。 ➢ 運転手の休憩時間を確保するため、13 時台の運行は難しい。 ③ タクシーの利用について ➢ 19 時台、20 時台のバスがカバーできていない時間帯であれば、300 円～500 円払ってでも乗りたい方はいる。 ➢ 366 号線沿いに飲食店からの帰りなどにも使えるのではないかな。 ④ 新たな公共交通の試行運用については、道が狭く、坂が多い石浜地区においては有効的であると考えられるが、運行する区間についての意見は出なかった。
感想用紙	① 日頃、「う・ら・ら」を利用していないため、いざ利用するときになって利用できるか不安。 ② 「う・ら・ら」を利用しないのは、便が少ないので無駄な時間ができてしまうからではないか。 ③ 今は自家用車で移動がほとんど。これからバスを利用する機会を設けていきたい。 ④ 公共交通のことを知らない人が多いと思うので、地区ごとで利用促進

	キャンペーンをやると良いのでは。 ⑤ 利用する方を増やすことはなかなか難しいと思うが、イベントや散歩等の行事を自治会、公民館等で考えていただけると一度、二度と利用する方がいるのではないか。 ⑥ 「う・ら・ら」に合わせて自分の行動を考えるのは、いまの頭の中にはない。免許を持っている方が「う・ら・ら」に乗ることは便利だと感じない。
--	---

第4章 東浦町地域公共交通網形成計画の評価

1 目的・評価方法等

1 目的

「東浦町地域公共交通網形成計画（以下、旧計画とする）」の目標の達成可否等から現状の課題を把握し、課題解消を目標とする事業を令和3年度に改定する「東浦町地域公共交通計画（以下、本計画とする）」に反映することを目的に、旧計画を評価します。

2 評価方法

令和2年度の実績値、令和3年度に実施した町民アンケート「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」及び「公共交通に関するグループインタビュー」の結果を元に、旧計画で設定した目標の達成可否等を評価します。

3 東浦町における地域公共交通の課題

旧計画を評価した結果から考えられる、東浦町における地域公共交通の課題は下表のとおりです。

表 東浦町における地域公共交通の課題

	分 類	課 題
1	公共交通の 利便性向上 に関するもの	① 駅・バス停勢力圏のカバー率の上昇や、運行台数の増台等による財政投入額の増額があったが、満足度は目標に達していない。 ➤ カバー率、財政投入額とは異なる、サービス水準の向上を評価する指標の新設が必要。 ➤ 生路・藤江・緒川新田地区で行きたい場所として要望のある巽ヶ丘駅への移動利便性向上が必要。 ② 「う・ら・ら」の満足度、及び「東浦町の公共交通全体」の満足度については、どちらも利用頻度が高い人ほど満足度は高く、利用頻度の低い人ほど満足度は低い。 ➤ 満足度という指標が主観的なものであるため、利便性向上の結果をより定量的に評価できる指標が必要。 ③ 令和元年10月のダイヤ改正より、既存路線から大幅に運行ルートを変更したことで、一定数の利用者離れがあった。 ➤ 利用者減の一因としては、緒川新田地区から緒川駅の区間運行の減便、最終バス時刻の繰り上げ等が考えられるため、新路線の評価、「新たな移動手段」を用いた実証実験の検討・協議が必要。 ➤ 環状線の誤乗が多い、間違っただけで乗ってしまったのではないかと心配を抱いて乗車するとの意見を多く頂いたため、分かりやすく、安心して乗車できる環境づくりが必要。

		④ 高齢者（65 歳以上）の運転免許自主返納件数は、目標値の 1.4 倍以上に達したが、依然として高齢者の免許保有率は高く、70 歳代でも 7 割以上、80 歳以上でも半数が保有している。また、高齢者の外出頻度は、60 歳代から減少しはじめ、80 歳以上で顕著に減少する。 ➤ 福祉部門で提供される移動サービスの周知や、「新たな移動手段」を用いた実証実験の検討・協議が必要。
2	公共交通の利用促進に関するもの	① 「う・ら・ら」の満足度、及び「東浦町の公共交通全体」の満足度については、どちらも利用頻度が高い人ほど満足度は高く、利用頻度の低い人ほど満足度は低い。 ➤ 「う・ら・ら」、民間バス、タクシーといった公共交通に不慣れな人への配慮や働きかけが必要。 ② 高齢者（65 歳以上）の運転免許自主返納件数は、目標値の 1.4 倍以上に達したが、依然として高齢者の免許保有率は高く、70 歳代でも 7 割以上、80 歳以上でも半数が保有している。また、高齢者の外出頻度は、60 歳代から減少しはじめ、80 歳以上で顕著に減少する。 ➤ 引き続き高齢者（65 歳以上）の運転免許自主返納支援事業を実施するとともに、高齢者（65 歳以上）が免許返納以前から公共交通に慣れ親しめるような配慮や働きかけが必要。 ➤ 福祉部門で提供される移動サービス及び、病院・商業施設等の民間事業者による送迎サービスの周知活動が必要。
3	公共交通の維持存続に関するもの	① 「う・ら・ら」の利用者数、タクシー利用台数が大幅に減少。現計画には、公共交通の維持存続を目的とした事業や、それに紐づく目標・指標等が設定されていない。また、民間バスにおいては、利用者数に関する指標も設定されていない。 ➤ 公共交通の維持存続を図るための取り組みと、公共交通サービス全体を底上げするような評価の仕組みが必要。

2 目標 1 のプロセス目標・成果目標の評価

第 5 次東浦町総合計画の将来都市像「笑顔と緑あふれるいきいき都市」の実現のため、公共交通がその一助となるように、旧計画では 3 つの基本方針を設けています。ここでは、旧計画の基本方針 1 「コンパクトなまちづくりと連携した地域社会の活力の維持・向上」を達成するために設定した目標 1 「まちづくりと公共交通の一体性の確保をめざし、暮らしている人が暮らし続けたいくなるまち、新たに住みたいくなる人が増えるまちづくりを支える公共交通網を構築する。」のプロセス目標・成果目標をそれぞれ評価します。

1 プロセス目標の評価

目標1のプロセス目標である「指標1：駅勢圏半径800m、バス停勢圏300mにおける人口カバー率」の結果については下表のとおりです。

(1) 指標1：駅勢圏半径800m、バス停勢圏300mにおける人口カバー率

計画策定時	①令和2年度 (目標値)	②令和2年度 (結果)	差 ②-①	達成可否
91.6%	94.0%	95.1%	1.1%	達成

※計画策定時の数値は、「コンパクトなまちづくり計画（平成28年2月 東浦町）」より抜粋（令和2年度（目標値）の数値はコンパクトなまちづくり計画の数値ではない。）

※令和2年度（結果）の数値は、「東浦町立地適正化計画（仮称）」の計画策定業務にて算出した数値を引用

※駅は、JR武豊線のうち、尾張森岡駅・緒川駅・石浜駅・東浦駅及び名鉄河和線のうち、八幡新田駅・巽ヶ丘駅

※バス停は、「う・ら・ら」及び知多乗合(株)のバス停

2 成果目標の評価

目標1の成果目標である「指標1：住民の公共交通機関への満足度」及び「指標2：町運行バス「う・ら・ら」の満足度」の結果については下表のとおりです。

どちらも目標値には達していませんが、目標値を設定した平成26年度及び平成27年度の現状値と比較すると増加していました。

(1) 指標1：住民の公共交通機関への満足度

計画策定時	①令和2年度 (目標値)	②令和2年度 (結果)	差 ②-①	達成可否
34.6%	40.6%	35.1%	△5.5%	非達成

※計画策定時の数値は、平成26年度住民意識調査より抜粋

第2章「アンケートの調査結果」から、「公共交通利用あり」と回答した方ほど満足度が高く、地域別では「生路」、「森岡」、「緒川」、「緒川新田」、年代別では「学生」、「80歳以上」の満足度が高いことが分かりました。

(2) 指標2：町運行バス「う・ら・ら」の満足度

計画策定時	①令和2年度 (目標値)	②令和2年度 (結果)	差 ②-①	達成可否
21.8%	33.3%	26.1%	△7.0%	非達成

※計画策定時の数値は、平成27年度住民アンケート調査より抜粋

第2章「アンケートの調査結果」から、「「う・ら・ら」の利用頻度が高い人ほど満足度が高い傾向にあり、地域別では「森岡」、「緒川」、「緒川新田」、年代別では「学生」、「60代後半」の満足度が高いことが分かりました。

3 目標2のプロセス目標・成果目標の評価

旧計画の基本方針2「過度な自動車依存からの脱却と外出交流促進の両立」を達成するために設定した目標2「過度な自動車依存から脱却し、公共交通への転換により自動車交通量の削減、外出頻度の増加を目指す。」のプロセス目標・成果目標をそれぞれ評価します。

1 プロセス目標の評価

目標2のプロセス目標である「指標1：町運行バス「う・ら・ら」全路線1便あたりの乗車人数の増加」の結果については下表のとおりです。なお、東ヶ丘線、平池台線(体)、平池台線(ふ)は、令和元年10月に実施したダイヤ改正で路線改変し、測定不能であるため、ここでは刈谷線と長寿線の1便あたりの乗車人数で評価します。

令和2年度（結果）の1便あたりの乗車人数は、下表のとおり、刈谷線及び長寿線も目標値を下回っています。

(1) 指標1：町運行バス「う・ら・ら」全路線1便あたりの乗車人数の増加

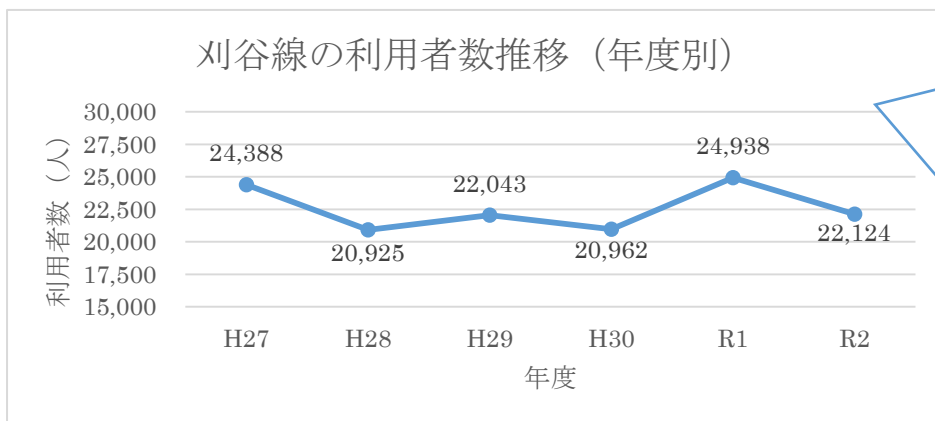
	計画策定時	①令和2年度 (目標値)	②令和2年度 (結果)	差 ②-①	達成 可否
刈谷線	5.4人	6.4人	3.4人	△3.0人	非達成
長寿線	6.9人	7.9人	5.2人	△2.2人	非達成
東ヶ丘線	13.9人	14.9人	-	-	-
平池台線(体)	14.6人	15.6人	-	-	-
平池台線(ふ)	17.9人	18.9人	-	-	-

※計画策定時の数値は、平成27年度の実績値

※平池台線(体)は、平池台線体育館経由、平池台線(ふ)は、平池台線ふじが丘経由を指す。

※結果の数値は、令和2年度の実績値

刈谷線において令和2年度（結果）の1便あたりの乗車人数が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回った要因としては、令和元年度を除き、刈谷線の利用者数が平成27年度から減少していることが挙げられます。特に令和2年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて利用者数が減少したことと、令和元年10月のダイヤ改正以降で運行便数が増加したことにより、1便あたりの乗車人数が大きく減少したと考えられます。



刈谷線の運行便数

- ・ H27.9 まで
15 便／1 日
- ・ H27.10～R1.9
10 便／1 日
- ・ R1.10 から
18 便／1 日

図 刈谷線の利用者数推移（年度別）

また、長寿線においても令和2年度（結果）の1便あたりの乗車人数が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回りました。この要因としては、長寿線の利用者数が平成27年度をピークに減少していることが挙げられます。特に令和2年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて利用者数が減少したことにより、1便あたりの乗車人数が大きく減少したと考えられます。なお、長寿線については、ダイヤ改正による運行便数の増減はありません。

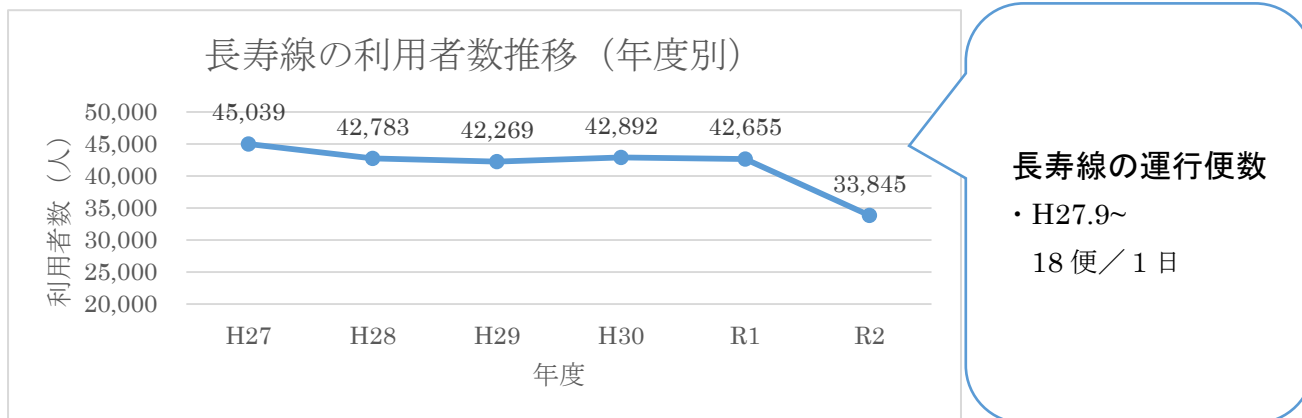


図 長寿線の利用者数推移（年度別）

2 成果目標の評価

目標2の成果目標である「指標1：高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数の増加」及び「指標2：高齢者（65歳以上の外出頻度の増加）」の結果については下表のとおりです。

（1）指標1：高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数の増加

計画策定時	①平成28年度～令和2年度の平均 （目標値）	②平成28年度～令和2年度の平均 （結果）	差 ②-①	達成可否
51人	100人	141.8人	+41.8人	達成

※計画策定時の数値は、平成27年度の実績値

※半田警察署管内で返納した東浦町内在住者数を集計

高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数が増加した要因としては、高齢ドライバーによる交通事故が連日メディアで報道されるようになったことで、町民に返納を検討する機会が増加したことや、平成28年4月から開始した高齢者で運転免許を自主返納された方を対象に、東浦町運行バス「う・ら・ら」の定期券やタクシー助成券、交通系ICカードの交付などの支援を行う「東浦町高齢者運転免許自主返納支援事業」に一定の効果が見られたこと等が考えられます。

なお、事業利用者数が返納者数を上回った理由としては、東海警察署及び刈谷警察署管内で返納手続きをした方の人数が、本目標値の「高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数」に反映されないためです。

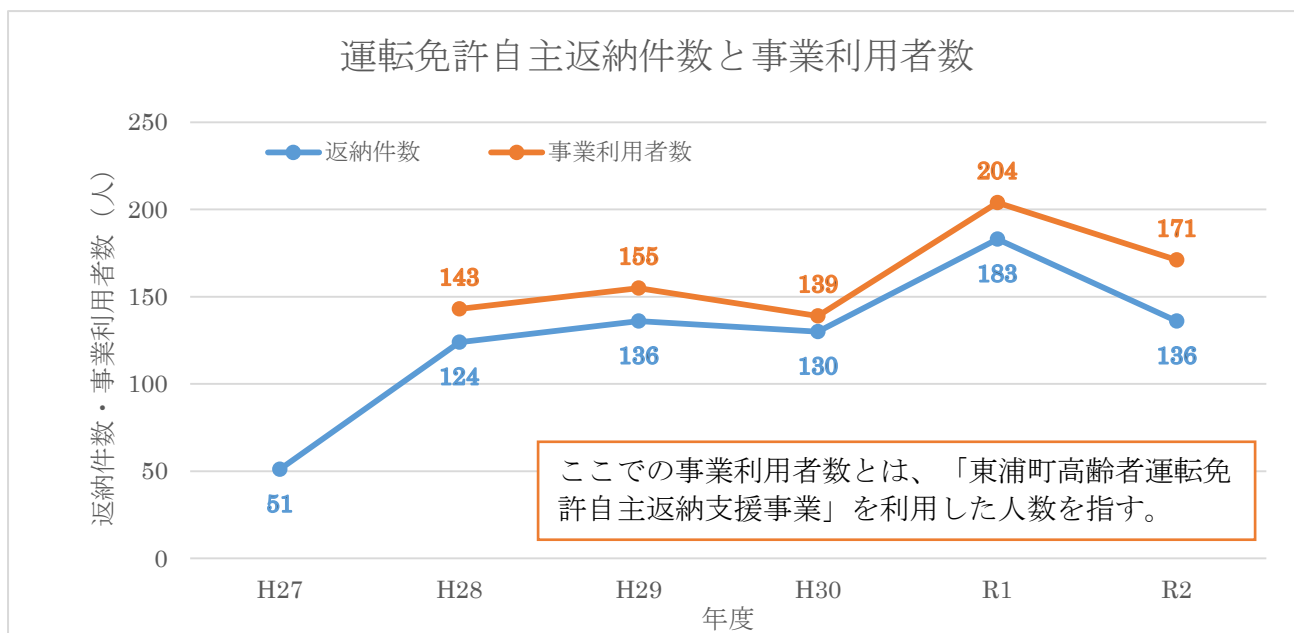


図 運転免許自主返納件数と事業利用者数の推移

(2) 指標 2：高齢者（65 歳以上）の外出頻度の増加

計画策定時	①令和 2 年度 (目標値)	②令和 2 年度 (結果)	差 ②-①	達成可否
4.6 回／週	5.6 回／週	4.7 回／週	△0.9 回	非達成

※計画策定時の数値は、平成 27 年度の実績値

第 2 章「アンケートの調査結果」から、外出状況を年代別にみると、60 歳代から減少しはじめ、80 歳以上で顕著に減少することが分かります。

4 目標3のプロセス目標・成果目標の評価

旧計画の基本方針3『『くらしの足』を支え、安心して利用できる生活圏スケールでの公共交通網形成』を達成するために設定した目標3「生活圏スケールで『くらしの足』を確保し、住民及び利用者のQOL（※）を保証する。（※QOL：Quality of Lifeの略。生活の質）」のプロセス目標・成果目標をそれぞれ評価します。

1 プロセス目標の評価

目標3のプロセス目標である「指標1：町運行バス「う・ら・ら」の利用者の増加」、「指標2：町運行バス「う・ら・ら」刈谷線及び長寿線の利用者の増加」及び「指標3：タクシーの利用台数の増加」の結果については下表のとおりです。

（1）指標1：町運行バス「う・ら・ら」の利用者の増加

計画策定時	①令和2年度 （目標値）	②令和2年度 （結果）	差 ②-①	達成可否
255,214 人	290,000 人	179,539 人	△110,461 人	非達成

※計画策定時の数値は、平成27年度の実績値

町運行バス「う・ら・ら」の令和2年度（結果）の利用者が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回った要因としては、利用者数が平成30年度から減少していることが挙げられる。特に令和2年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて利用者が減少したことと、令和元年10月のダイヤ改正以降で運行路線が大きく変わったことによる利用控えが発生したことにより、利用者数が大きく減少したと考えられます。

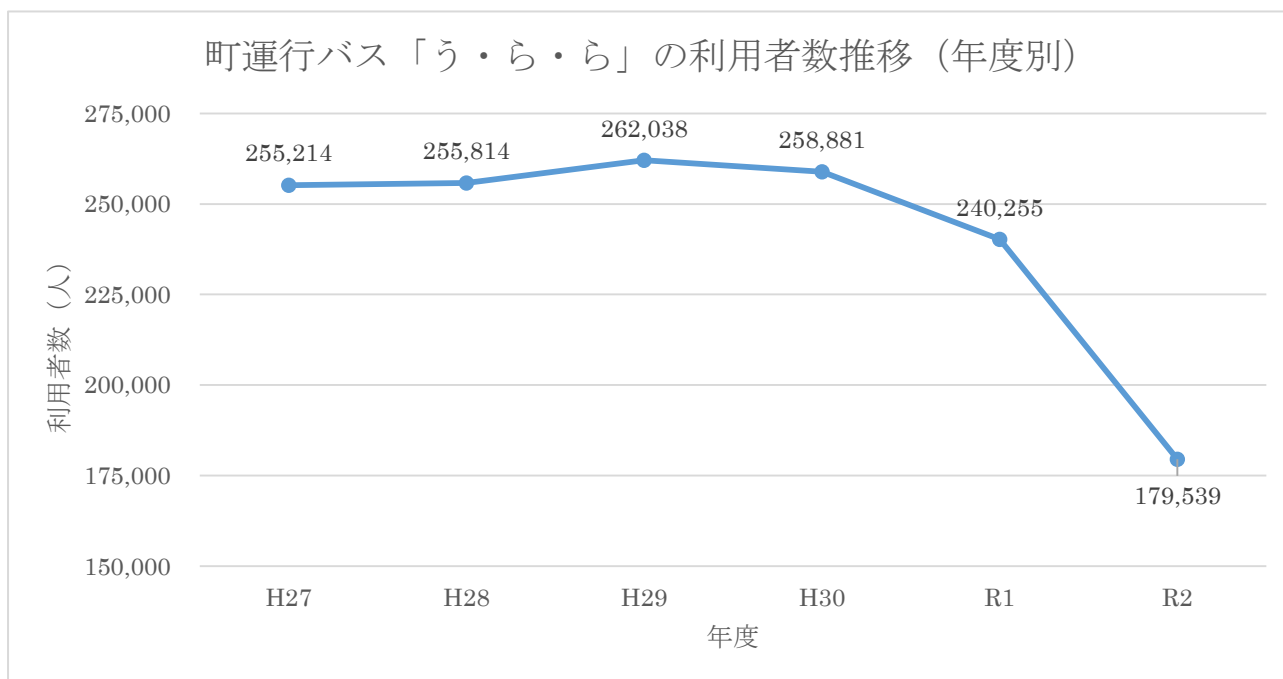


図 町運行バス「う・ら・ら」の利用者数の推移（年度別）

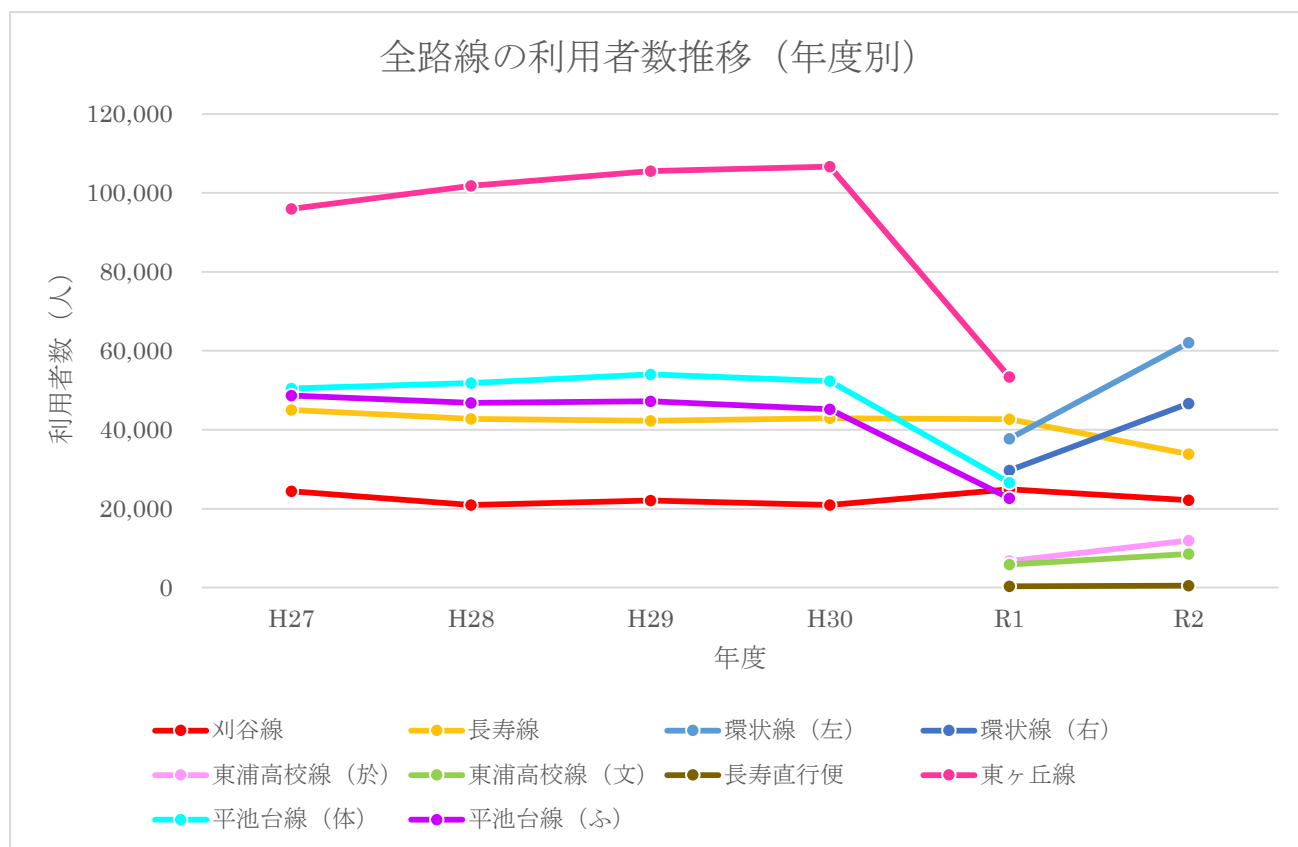


図 全路線の利用者数の推移（年度別）

（２）指標２：町運行バス「う・ら・ら」刈谷線及び長寿線の利用者の増加

	計画策定時	①令和２年度 （目標値）	②令和２年度 （結果）	差 ②-①	達成 可否
刈谷線	24,388 人	33,000 人	22,124 人	△10,876 人	非達成
長寿線	45,039 人	52,000 人	33,845 人	△18,155 人	非達成

※計画策定時の数値は、平成 27 年度の実績値

刈谷線において令和 2 年度（結果）の利用者数が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回った要因としては、令和元年度を除き、刈谷線の利用者数が平成 27 年度から減少していることが挙げられます。特に令和 2 年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて利用者数が減少したと考えられます。

また、長寿線においても令和 2 年度（結果）の利用者数が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回りました。この要因としては、長寿線の利用者数が平成 27 年度をピークに減少していることが挙げられます。特に令和 2 年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて利用者数が減少したと考えられます。

（３）指標３：タクシーの利用台数の増加

計画策定時	①令和２年度 （目標値）	②令和２年度 （結果）	差 ②-①	達成可否
25,050 台	30,000 台	11,122 台	△18,878 台	非達成

※利用台数は、東浦町内での乗車台数とする。

※利用台数は、名鉄知多タクシー(株)、大興タクシー(株)、安全タクシー(株)での合計台数

※計画策定時の数値は、平成 27 年度の実績値

令和 2 年度（結果）の利用者数が、目標値のみならず計画策定時の数値よりも下回りました。この要因としては、平成 28 年度をピークに減少していることが挙げられます。特に令和 2 年度は、コロナ禍における外出自粛の影響を受けて夜間の会食の減少とともに、リモート会議や在宅勤務の推進に伴う出張者の減少も要因の一つだと考えられます。

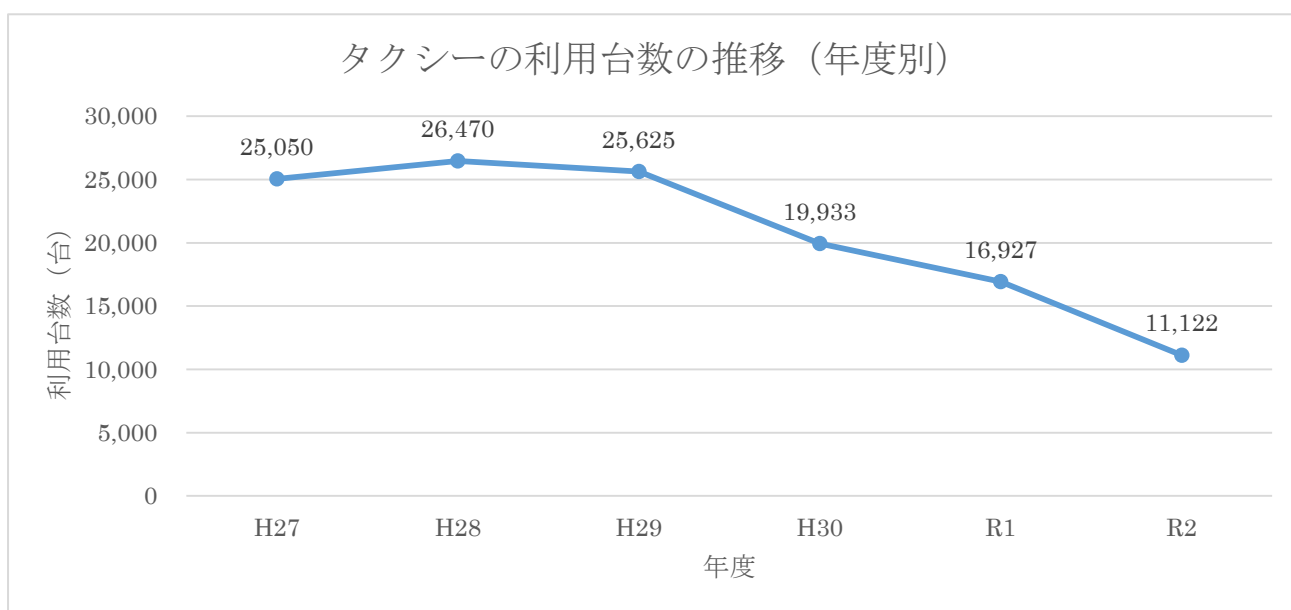


図 タクシー利用台数の推移（年度別）

2 成果目標の評価

目標 3 の成果目標である「指標 1：住民の公共交通機関への満足度」及び「指標 2：町運行バス「う・ら・ら」への財政投入額（住民一人あたりの年間負担額）」の結果については下表のとおりです。

（１）指標 1：住民の公共交通機関への満足度

計画策定時	①令和２年度 （目標値）	②令和２年度 （結果）	差 ②-①	達成可否
34.6%	40.6%	35.1%	△5.5%	非達成

※計画策定時の数値は、平成 26 年度住民意識調査より抜粋

第 2 章「アンケートの調査結果」から、「公共交通利用あり」の方ほど満足度が高く、地区別では「生路」、「森岡」、「緒川」、「緒川新田」、年代別では「学生」、「80 歳以上」の満足度が高いことが分かりました。

(2) 指標2：町運行バス「う・ら・ら」への財政投入額(住民一人あたりの年間負担額)

計画策定時	①令和2年度 (目標値)	②令和2年度 (結果)	差 ②-①	達成可否
990 円	990 円	2,305 円	+1,315 円	非達成

※計画策定時の数値は、平成27年度の実績値

令和2年度(結果)の財政投入額は、目標値及び計画策定時の数値よりも上回りました。この要因としては、令和元年10月及び令和3年2月に実施したダイヤ改正における運行委託費の増加と、ダイヤ改正による利用控えやコロナ禍による外出自粛の影響を受けて、運賃収入が減少していることが挙げられます。

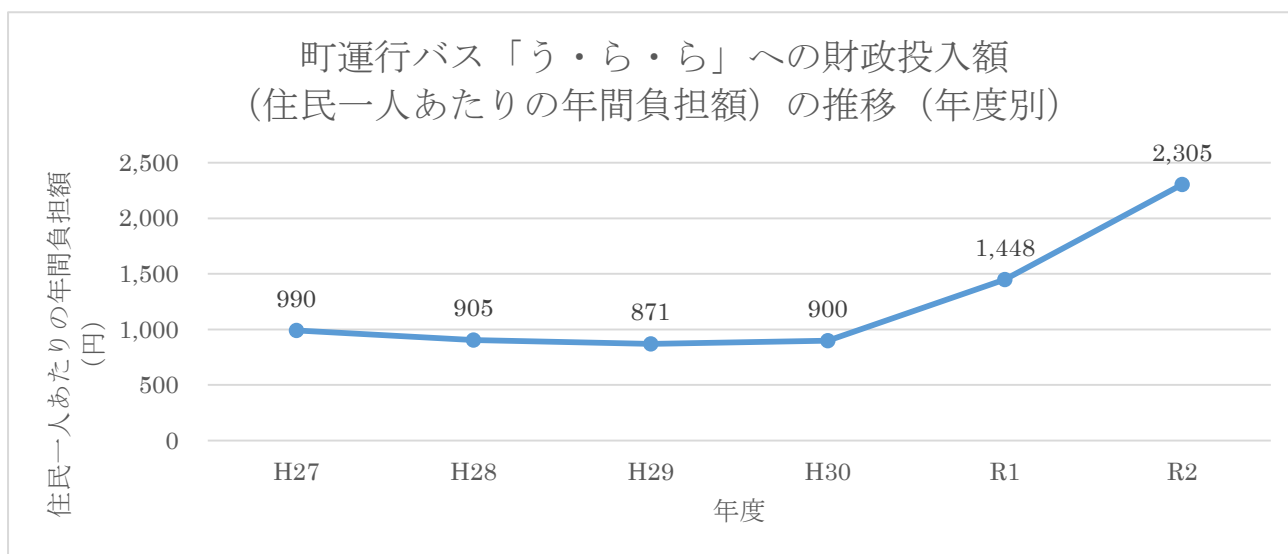


図 町運行バス「う・ら・ら」への財政投入額(住民一人あたりの年間負担額)の推移(年度別)

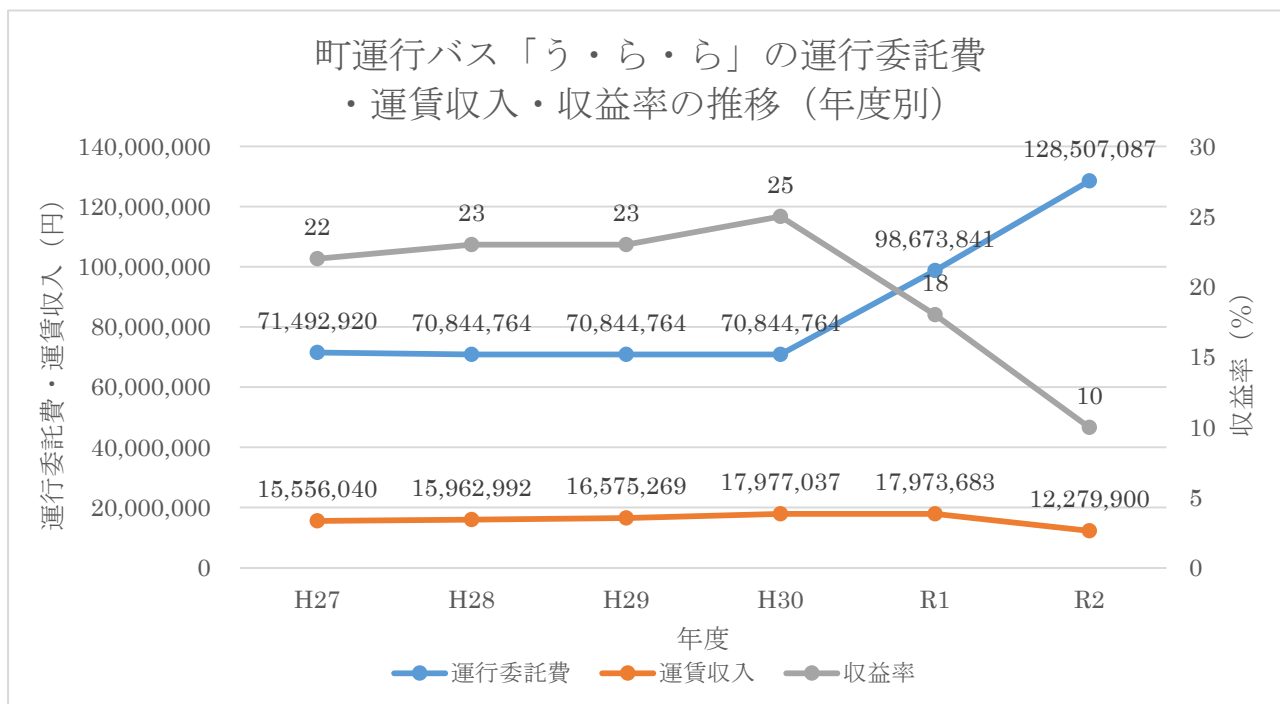


図 町運行バス「う・ら・ら」の運行委託費・運賃収入・収益率の推移(年度別)

東浦町地域公共交通計画
資料編

令和4年3月28日
発行 東浦町

〒470-2192

愛知県知多郡東浦町大字緒川字政所 20 番地

TEL 0562-83-3111（代表）
